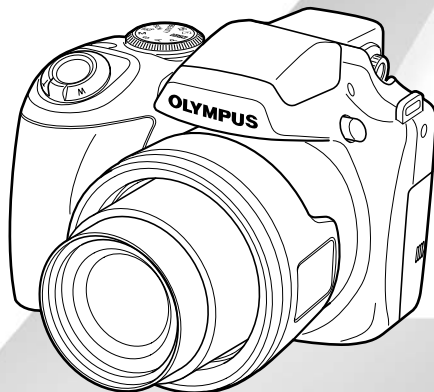
OLYMPUS®

デジタルカメラ

SP-590UZ

取扱説明書

- オリンパスデジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。特に「安全にお使いいただくために」は、製品をご使用になる前に良くお読みください。またお読みになったあとも、必ず保管してください。
- 海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。
- 取扱説明書で使用している液晶画面やカメラのイラストは実際の製品とは異なる場合があります。

ステップ 1

箱の中身を確認する

レンズキャップ / レンズキャップ用ひも

USB ケーブル

AV ケーブル

デジタルカメラ

ストラップ

単 3 アルカリ電池（4 本）

OLYMPUS Master 2 CD-ROM

microSD アタッチメント

その他の付属品 : 取扱説明書、保証書

ステップ 2

カメラを準備する

「カメラを準備する」（p. 15）

ステップ 3

写真を撮って再生する

「撮影する・再生する・消去する」（p. 19）

ステップ 4

カメラの使い方を知る

「設定操作は 3 種類」（p. 3）

ステップ 5

プリントする

「ダイレクトプリント（PictBridge）」（p. 60）
「プリント予約（DPOF）」（p. 63）

目次

Web 版 取扱説明書

オリンパスホームページにて作例写真を使った撮影テクニックを紹介しています。

http://www.olympus.co.jp/jp/imsg/webmanual/

設定操作は 3 種類

メニューで操作する

撮影や再生時に使う機能、また日時や画面表示設定などカメラの様々な設定はメニューで操作します。

使用するボタン

MENU ボタン

十字ボタン

❓ ボタン

OK/FUNC ボタン

現在設定されている機能の組み合わせ、あるいはモードダイヤルの位置によっては、選択できないメニューがあります。

1 モードダイヤルをいずれかに合わせる。

「メニュー設定」(p. 32 〜 45)中のアイコンは、設定できる撮影モードを表します。

2 MENU ボタンを押す。

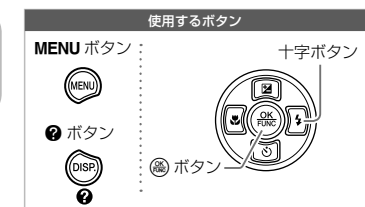
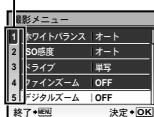
- 例として［デジタルズーム］を設定します。

撮影トップメニュー

3 上下左右ボタンで目的のメニューを選び OK/FUNC ボタンを押す。

❓ ボタンを押すと、押している間、説明(メニューガイド)が表示される項目があります。

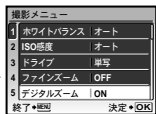
サブメニュー 1

4 上下ボタンで目的のサブメニュー 1 を選び OK/FUNC ボタンを押す。

すばやく目的のサブメニューに移動するには、左ボタンでページタブをハイライトさせてから、上下ボタンでページタブを移動し、右ボタンでサブメニュー 1 に戻ります。

OK/FUNC ボタンを押すと、さらにメニューが表示される機能があります。

5 上下ボタンで目的のサブメニュー 2 を選び OK/FUNC ボタンを押す。

- 設定が確定して 1 画面前に戻ります。

設定後、さらに個別の操作があることがあります。詳細は「メニュー設定」(p. 32 〜 59)をご覧ください。

6 MENU ボタンを押して設定を終える。

ダイレクトボタンで操作する

撮影時によく使う機能はダイレクトボタンで操作します。

シャッターボタン（p. 19）

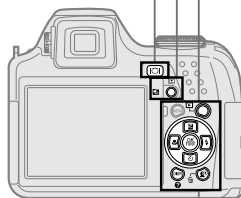
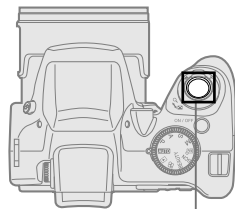
ボタン（液晶モニタ / ビューファインダ切替）（p. 27）

/ ボタン（カスタム / 連写再生）（p. 29、31）

ボタン（露出補正）（p. 26）
ボタン（マクロ撮影）（p. 26）
ボタン（フラッシュ撮影）（p. 25）
ボタン（セルフタイマー撮影）（p. 27）

ボタン（再生）（p. 19）

DISP./❓ ボタン（メニューガイド / 表示切替 / 時刻確認）（p. 3、18、28、30）

/ ボタン（顔検出パーフェクトショット / 消去）（p. 20、24）

FUNC メニューで操作する（p. 29）

撮影時によく使うメニュー機能は、FUNC メニューを使うと少ない手順で設定できます。

OK/FUNC ボタン（p. 29）

メニューインデックス

撮影に関連するメニュー

モードダイヤルが撮影モード（AUTO P A S M MY SCN BEAUTY ）のときに設定することができます。

撮影トップメニュー

撮影に関連するメニュー 続き

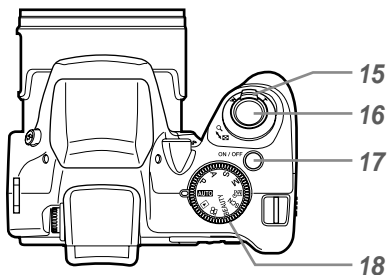
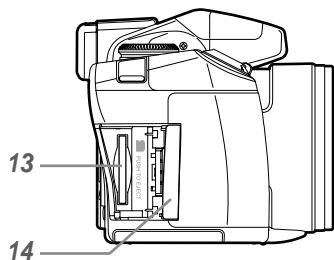
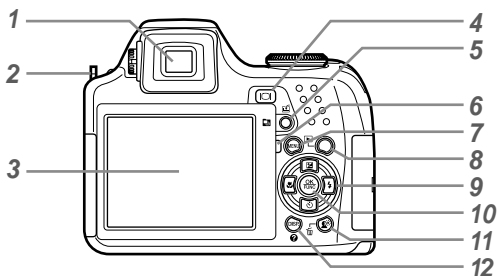
再生・編集・プリントに関連するメニュー

モードダイヤルが ▶ のときに設定することができます。

再生トップメニュー

各部の名前

カメラ本体

1 セルフタイマーランプ/AFイルミネータ.................p. 27, 37
2 録音マイク...............................p. 50
3 フラッシュ..............................p. 25
4 レンズ
5 電池カバー...............................p. 15
6 電池カバーロック.....................p. 15
7 三脚穴
8 スピーカー
9 視度調整ダイヤル.....................p. 27
10 ⚡ボタン（フラッシュポップアップ）.......p. 25
11 マルチコネクタ............p. 56, 60, 66
12 DC入力端子.............................p. 73
13 HDMIミニコネクタ..................p. 56
14 コネクタカバー............p. 56, 60, 66

1 ビューファインダ.....................p. 27
2 ストラップ取付部.....................p. 15
3 液晶モニタ.....................p. 8, 19, 54
4 |□|ボタン（液晶モニタ/ビューファインダ切替）............p. 27
5 ボタン（カスタム/連写再生）..........p. 29, 31
6 カードアクセスランプ..............p. 74
7 **MENU**ボタン..............................p. 3
8 ▶ボタン（再生）.......................p. 19
9 十字ボタン...............................p. 17
- ボタン（露出補正）...........p. 26
- ボタン（マクロ）...............p. 26
- ボタン（セルフタイマー）.p. 27
- ボタン（フラッシュ）........p. 25

10 ボタン（OK/FUNC）..............p. 29
11 /ボタン（顔検出パーフェクトショット/消去）...p. 20, 24
12 **DISP.**/ボタン（メニューガイド/表示切替/時刻確認）...............................p. 3, 18, 28, 30
13 カード挿入口 ....p. 16
14 カードカバー ....p. 16
15 ズームレバー ....p. 24, 30
16 シャッターボタン...............p. 19, 23
17 **ON/OFF**ボタン..............p. 16, 17, 19
18 モードダイヤル....................p. 3, 19

液晶モニタ

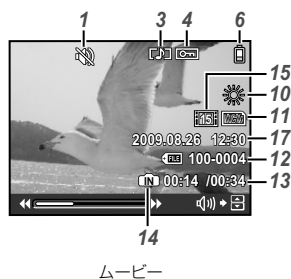
撮影モード表示

静止画

ムービー

1 撮影モード..........................p. 21, 32
2 フラッシュモード.....................p. 25
3 消音モード...............................p. 59
4 手ぶれ補正...............................p. 37
5 マクロ/スーパーマクロ.............p. 26
6 顔検出パーフェクトショット....p. 24
7 ノイズリダクション ....p. 39
8 AEロック.................................p. 58
9 電池残量............................p. 15, 69
10 AFロック（AFL）........................p. 58
マニュアルフォーカス（MF）......p. 36
動体予測AF（ ）...................p. 37
11 フラッシュ発光予告
手ぶれ警告・フラッシュ充電....p. 68
12 フラッシュ補正.........................p. 38
13 彩度.......................................p. 39
14 シャープネス ....p. 39
15 コントラスト ....p. 39
16 コンバージョンレンズ..............p. 40
17 録音..................................p. 38, 40
18 デュアルタイム ....p. 54
19 撮影可能枚数
撮影可能時間 ....p. 19, 23, 75
20 使用メモリ...............................p. 74
21 AFターゲットマーク ....p. 19, 28, 36
22 セルフタイマー ....p. 27
23 絞り値 ....p. 21
24 シャッター速度 ....p. 21
25 露出補正 ....p. 26
26 圧縮モード/フレームレート ......p. 32
27 画像サイズ...............................p. 32
28 測光...p. 35
29 ISO感度...................................p. 34
30 ホワイトバランス.....................p. 33
31 ドライブ ....p. 34
32 WB補正...................................p. 39

再生モード

静止画

ムービー

1	消音モード	p. 59
2	プリント予約・枚数	p. 63
3	録音	p. 38, 40
4	プロテクト	p. 49
5	連写再生（インデックス/スライドショー）	p. 31
6	電池残量	p. 15, 69
7	シャッター速度	p. 21
8	絞り値	p. 21
9	露出補正	p. 26
10	ホワイトバランス	p. 33
11	画像サイズ	p. 32
12	ファイル番号	p. 53
13	コマ番号 再生時間/録画時間	p. 20
14	使用メモリ	p. 74
15	圧縮モード/フレームレート	p. 32
16	ISO感度	p. 34
17	日時	p. 17, 54

目次

再生機能を使いこなす 30

撮影に関連するメニュー 32

再生・編集・プリントに関連するメニュー 46

カメラの設定に関連するメニュー 51

プリントする 60

付属のOLYMPUS Master 2を使う 66

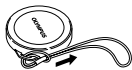
使い方のヒント 68

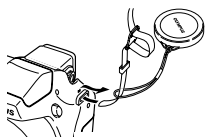
資料 72

索引 83

カメラを準備する

ストラップとレンズキャップを取り付ける

1

2

3

4

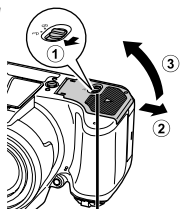
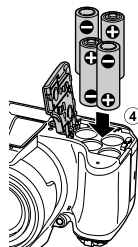
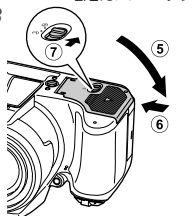
● 同様に逆側も取り付けます。

5

最後にストラップを少し強めに引っ張り、抜けないことを確認してください。

電池を入れる

1

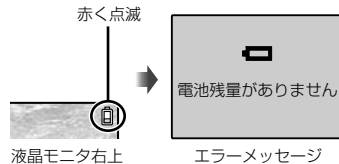
2

3

● 電池カバーロックを⊘から⊖にして、必ず電池カバーをロックしてください(⑦)。ロックしていないと撮影中などに電池カバーが開き電池が出るなどして、画像データが消えてしまう場合があります。

使用できる電池の種類については「電池について」(p. 73)をご覧ください。充電池の場合は、充電してください。

電池カバーの開け閉めの際は、電源を切ってください。

電池の交換時期

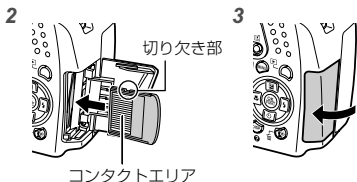
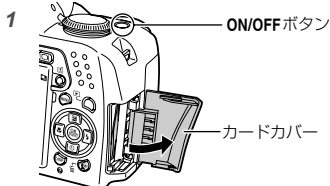
次のエラーメッセージが表示されたら電池を交換してください。

液晶モニタ右上　　エラーメッセージ

xD-ピクチャーカード™(別売)を入れる

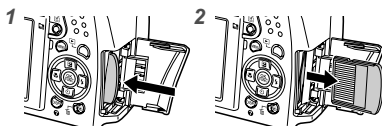
このカメラはxD-ピクチャーカード(別売)を入れて撮影すると、内蔵メモリより多くの枚数/時間を撮影することができます。

- 「xD-ピクチャーカード(カード)を使う」(p. 73)
- カードの抜き差しの前に、**ON/OFF**ボタンを押してカメラの電源を切ってください。
- xD-ピクチャーカードおよびmicroSDアタッチメント以外は、絶対にカメラに入れないでください。

1

2 3

- カードをまっすぐに差し、カチッと音がするまで押し込んでください。
- コンタクトエリアには直接手を触れないでください。

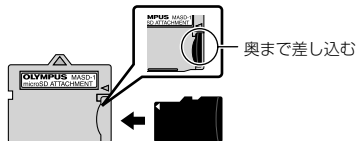
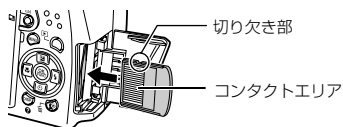
xD-ピクチャーカードを取り出すには

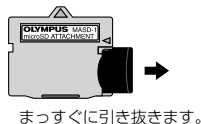
1 2

- カチッと音がするまでカードを押しこみ、ゆっくり戻してから、カードをつまんで取り出します。
- 「内蔵メモリとxD-ピクチャーカードの撮影可能枚数(静止画)/連続撮影可能時間(ムービー)」(p. 75)

microSDカード/microSDHCカード(別売)を入れる

microSDアタッチメントを使うと、microSDカード/microSDHCカード(以降microSDカードと呼びます)を使って撮影することができます。

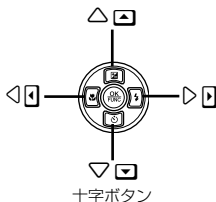
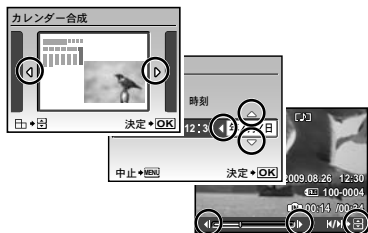
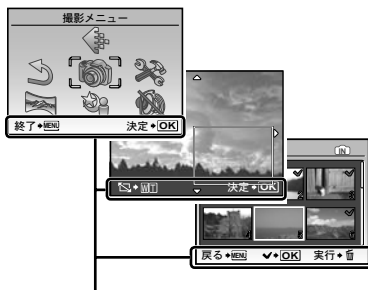
- 「microSDアタッチメントを使う」(p. 76)

1 microSDカードを取り付ける。

2 microSDアタッチメントをカメラに入れる。

microSDカードを取り外すには

まっすぐに引き抜きます。

- microSDアタッチメントおよびmicroSDカードのコンタクトエリアには、直接手を触れないでください。

十字ボタンと操作ガイド

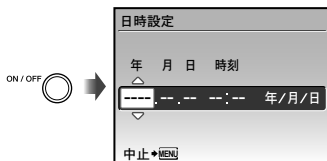
各種設定やムービー再生の画面中に表示される△▽◁▷、[▲][▼][◀][▶]は、十字ボタンを使うことを示しています。

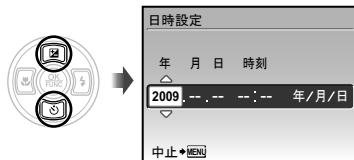
十字ボタン

画面下部に表示される操作ガイドは、**MENU**ボタンや㊖ボタン、ズームレバー、🗑ボタンを使うことを示しています。

操作ガイド

日時を設定する

ここで設定した日時は、撮影した画像のファイル名、日付プリントなどに反映されます。

1 レンズキャップをはずしてから、**ON/OFF**ボタンを押して電源を入れる。

- 日時を設定していないと、日時設定画面が表示されます。

日時設定画面

2 [⊠][◎]で[年]を選ぶ。

3 [⚡]を押して[年]を確定する。

4 手順2、3と同様に、[▲][▼][◀][▶]と[OK]ボタンで[月]、[日]、[時刻]（時、分）、[年/月/日]（日付の順序）を設定する。

- 0秒の時報に合わせて[OK]ボタンを押すと、正確に時刻を合わせせることができます。
- 設定した日時を変更するときは、メニューから設定します。[日時設定]（p. 54）

日時を確認するには

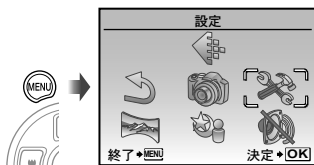
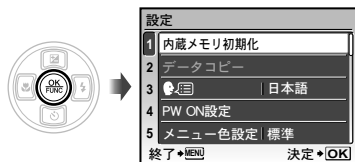
電源オフ時に**DISP.**ボタンを押すと、「日時」が約3秒間表示されます。

表示言語を切り替える

液晶モニタやビューファインダに表示される、メニュー表示やエラーメッセージの言語を選ぶことができます。

1 **MENU**ボタンを押し、[▲][▼][◀][▶]で[設定]（設定）を選ぶ。

2 [OK]ボタンを押す。

3 [▲][▼]で[言語]を選び、[OK]ボタンを押す。

4 [▲][▼]で言語を選び、[OK]ボタンを押す。

5 **MENU**ボタンを押す。

撮影する・再生する・消去する

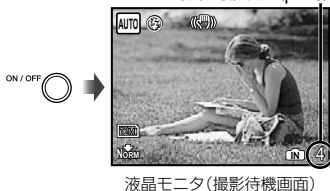
カメラまかせで撮影する (AUTOモード)

シャッターボタンを押すだけで撮影できるフルオートモードです。AUTOでは撮影メニュー内の設定はできません。

1 レンズキャップをはずす。

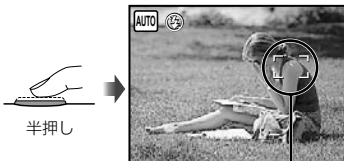
2 モードダイヤルをAUTOにする。

3 ON/OFFボタンを押して電源を入れる。

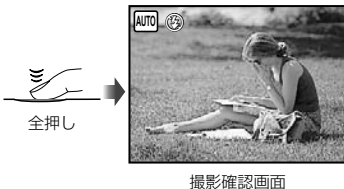
液晶モニタ(撮影待機画面)

電源を切るときは、もう1度ON/OFFボタンを押します。

4 カメラを構えて構図を決める。

5 シャッターボタンを半押しして、撮りたいもの(被写体)にピントを合わせる。

- 被写体にピントが合うと露出が固定され、AFターゲットマークが緑色に点灯します。
- AFターゲットマークが赤く点滅したときは、ピントが合っていません。もう一度やり直してください。

「ピント」(p. 70)

6 カメラが揺れないよう、シャッターボタンを静かに全押しして撮影する。

撮影確認画面

撮影中に画像を再生するには

▶ボタンを押すと、画像を再生できます。撮影に戻るには、もう一度▶ボタンを押すか、シャッターボタンを半押ししてください。

ムービーを撮影するには

「ムービーを撮る(🎥モード)」(p. 23)

電源を切るときは

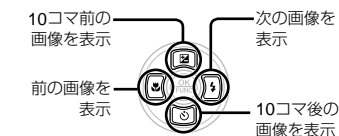
ON/OFFボタンを押して電源を切り、レンズキャップをレンズにはめてください。

撮った画像を再生する

1 モードダイヤルを▶にする。

コマ番号

再生画像

2 ⊠⊙⊛⊕で画像を選ぶ。

❗ 画像の表示サイズを変えることができます。「インデックス再生・カレンダー再生・クローズアップ再生」(p. 30)

ムービーを再生するには

ムービーを選び、OKボタンを押します。

ムービー

ムービー再生中の操作

音量：再生中に⊠⊙で調節します。
早送り/巻き戻し：⊛⊕で選びます。押すたびに、押した十字ボタンの方向に2倍速、20倍速、標準と再生速度が変わります。
一時停止：OKボタンを押します。

再生時間/
録画時間

再生中

頭出し/コマ送り：一時停止中に⊠で先頭のコマを、⊙で最後尾のコマを表示します。⊛で前のコマを、⊕で次のコマを表示します。OKボタンで再生をはじめます。

一時停止中

ムービー再生を中止するには

MENUボタンを押します。

再生中の画像を消去する（1コマ消去）

1 消去する画像の再生中に🗑ボタンを押す。

2 ⊠で[消去]を選び、OKボタンを押す。

❗ [消去]（p. 50）

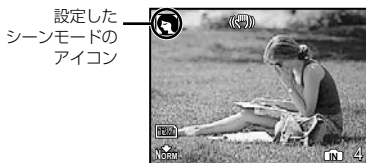
撮影モードを使いこなす

撮影シーンに合ったモードを使う（SCNモード）

1 モードダイヤルを**SCN**にする。

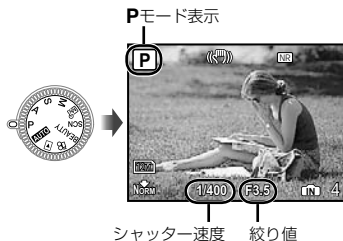
- サンプル画像とどのような撮影に適しているかの説明が画面に表示されます。また、❓ボタンを押し続けても説明は表示されます。

2 でシーンに合った撮影モードを選び、ボタンを押して確定する。

設定したシーンモードのアイコン

別のシーンモードに変更するには、メニュー操作をします。［**SCN**］（p. 41）

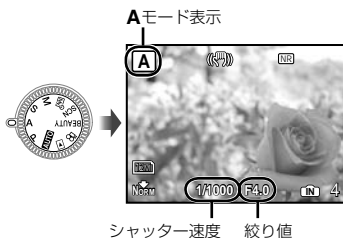
最適な絞り値とシャッター速度で撮る（Pモード）

カメラまかせの撮影をしながら、必要に応じて露出補正やホワイトバランスなど多彩な撮影メニュー機能を変更できます。

1 モードダイヤルを**P**にする。

絞り値を選んで撮る（Aモード）

シャッター速度はカメラが自動的に設定します。被写体の前後でピントの合う範囲を調整しながら撮影するときに便利です。

1 モードダイヤルを**A**にする。

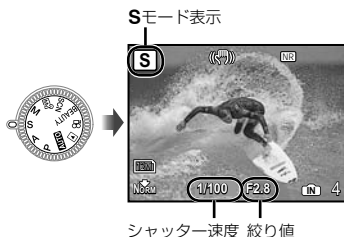
2 ☒を押したあと、☒⏲で絞り値を選び、OK/FUNCボタンを押す。

☒: 絞り値が大きくなる
（ピントの合う範囲が広くなる）
⏲: 絞り値が小さくなる
（ピントの合う範囲が狭くなる）

! 絞り値が赤く表示されているときは、正しい露出ではありません。

シャッター速度を選んで撮る（Sモード）

絞り値はカメラが自動的に設定します。スポーツ写真など、動きのある被写体を撮影するときに便利です。

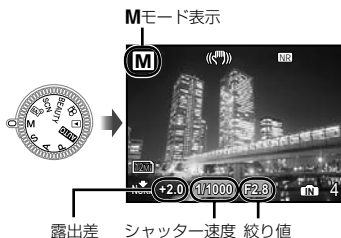
1 モードダイヤルを**S**にする。

2 ☒を押したあと、☒⏲でシャッター速度を選び、OK/FUNCボタンを押す。

☒: シャッター速度が速くなる
（動きの速い被写体でも止まっているように撮影される）
⏲: シャッター速度が遅くなる
（動いている被写体はぶれて撮影される）

! シャッター速度が赤く表示されているときは、正しい露出ではありません。

絞り値とシャッター速度を選んで撮る（Mモード）

絞り値とシャッター速度を自由に設定して、撮影ができます。

1 モードダイヤルを**M**にする。

2 ☒を押したあと、☒⏲🌷⚡で絞り値/シャッター速度を選び、OK/FUNCボタンを押す。

🌷: 絞り値が大きくなる
⚡: 絞り値が小さくなる
☒: シャッター速度が速くなる
⏲: シャッター速度が遅くなる

! 露出差が赤く表示されているときは、適正露出との差がEV±3.0を超えています。

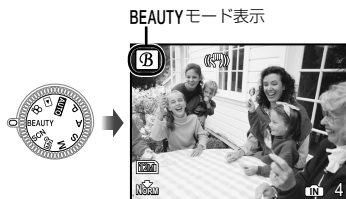
長時間露出（バルブ）撮影をするには

⏲を押して、シャッター速度を[BULB]に設定します。シャッターボタンを押している間、シャッターが開き続けます。

! バルブ撮影は、[ISO感度]（p. 34）を[64]に設定しているときのみ可能です（最長約8分）。

肌をなめらかに整えて撮る（BEAUTYモード）

人物の顔をカメラが見つけて、肌をなめらかに整えた画像を撮影することができます。

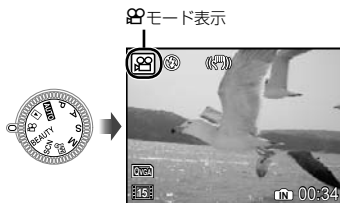
1 モードダイヤルをBEAUTYにする。

2 カメラを被写体に向け、カメラが検出した顔に現れる枠を確認してから、シャッターボタンを押して撮影する。

- 補正前と補正後の画像がそれぞれ保存されます。
- 補正できなかったときは、補正前の画像のみ保存されます。

被写体によっては、枠が現れなかったり、現れるまで時間がかかることがあります。また、被写体によっては効果が現れないことがあります。

補正後の画像の[画像サイズ]は[2M]以下に制限されます。

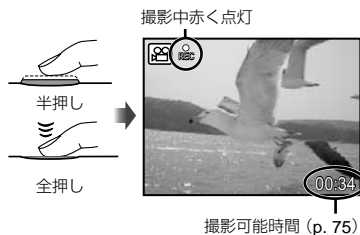
ムービーを撮る（モード）

1 モードダイヤルをにする。

撮影中に音声を録音するには

［ムービー録音］（p. 40）

ムービー録音しながらズームを使うには

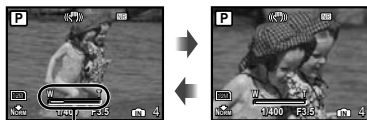
録音中は光学ズームを設定できません。［デジタルズーム］（p. 35）をお使いください。

2 シャッターボタンを半押しして、撮りたいものにピントを合わせてから、そのまま静かに全押しして撮影をはじめる。

3 シャッターボタンを静かに全押しして撮影を終了する。

撮影機能を使いこなす

光学ズームを使う

ズームレバーを回して撮影する範囲を調節します。

広角(W)側に回す　望遠(T)側に回す

ズームバー

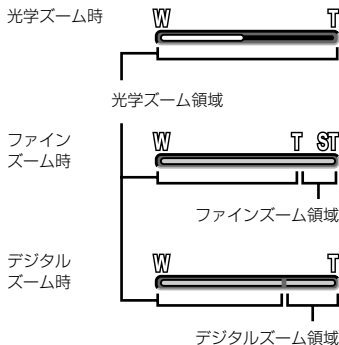
- 光学ズーム：26倍、デジタルズーム：5倍
- 望遠側のズーム撮影の際には、[手ぶれ補正](p. 37)を使うことをおすすめします。

画質を落とさずより大きく撮るには

[ファインズーム](p. 35)

より大きく撮るには

[デジタルズーム](p. 35)

- ズームバー表示の違いでファインズーム、デジタルズームの設定状態がわかります。

逆光でも被写体を明るく撮る(顔検出パーフェクトショット)

逆光で暗くなった人物の顔をカメラが見つけて、明るく撮影することができます。

1 ボタンを押す。

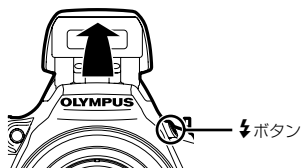
2 で[ON]を選び、ボタンを押して確定する。

3 カメラを被写体に向け、カメラが検出した顔に現れる枠を確認してから、シャッターボタンを押して撮影する。

- 被写体によっては、枠が現れなかったり、現れるまでに時間がかかることがあります。
- [測光](p. 35)は[ESP]に、[AF方式](p. 36)は[顔検出]に固定されます。
- [AF連写]は[連写]に自動的に変わります。また、連続撮影では最初の1コマだけにこの機能が適応されます。[ドライブ](p. 34)

フラッシュを使う

撮影状況や表現方法に合わせてフラッシュ機能を選びます。

1 ⚡ボタンを押してフラッシュを上げる。

フラッシュが閉じた状態ではフラッシュの設定はできません。

フラッシュを発光させないようにするには

フラッシュを手で閉じてください。
(発光禁止)モードになります。

2 ⚡を押す。

3 で設定項目を選び、ボタンを押して確定する。

項目	説明
オート発光[*1]	暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。
赤目軽減[*1]	予備発光を行い、目が赤く写るのを軽減します。
強制発光	フラッシュが必ず発光します。
赤目・強制発光	赤目軽減の予備発光後、フラッシュを必ず発光させます。
発光禁止	フラッシュは発光しません。
SLOW	遅いシャッター速度で、シャッターが開いた直後にフラッシュを発光させます(先幕シンクロ)。前景の被写体と背景の夜景が両方写ります。
赤目SLOW	赤目軽減の予備発光とSLOW(先幕シンクロ)発光の組み合わせです。
SLOW2	遅いシャッター速度で、シャッターが閉じる直前にフラッシュを発光させます(後幕シンクロ)。車のテールライトの軌跡が後ろに流れるように写ります。

[*1] **S**、**M**モードでは設定できません。

明るさを調節する（露出補正）

撮影モード（**M**を除く）で、カメラが調節した標準的な明るさ（適正露出）を、撮影意図に応じて明るくしたり暗くしたりできます。

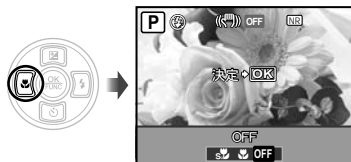
1 を押す。

露出補正値

2 で明るさを調節し、ボタンを押して確定する。

近づいて大きく撮る（マクロ撮影）

被写体に接近しても、ピントが合い大きく写すことができます。

1 を押す。

2 で設定項目を選び、ボタンを押して確定する。

項目	説明
OFF	マクロモードを解除します。
マクロ	被写体に10cm[*1]まで接近して撮影できます。
スーパーマクロ	被写体に1cm[*2]まで接近して撮影できます。

[*1] ズームが最もW（広角）側にあるとき。
[*2] ズームは自動的に固定されます。

セルフタイマーを使う

シャッターボタンを全押ししたあと、時間を空けて撮影します。三脚などに固定したカメラで、カメラから離れて自分を撮ったり（12s）、手ぶれのない撮影をするとき（2s）に便利です。

1 を押す。

2 で設定項目を選び、ボタンを押して確定する。

項目	説明
OFF	セルフタイマーを解除します。
12sセルフタイマー	設定後、シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーランプが約10秒点灯し、さらに約2秒点滅したあと、シャッターが切れます。
2sセルフタイマー	設定後、シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーランプが約2秒点滅したあと、シャッターが切れます。

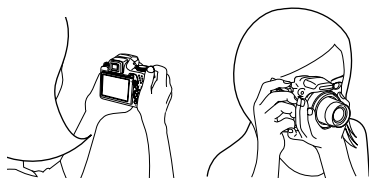
セルフタイマーは撮影のたびに設定し直してください。

動作中のセルフタイマーを中止するには

をもう一度押します。

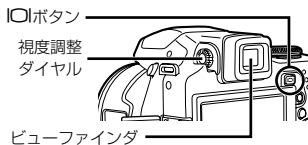
［動体予測AF］（p. 37）が［ON］または、［ドライブ］（p. 34）が［プリキャプチャー ON］のときは、セルフタイマーは設定できません。

液晶モニタとビューファインダを切り替える

液晶モニタとビューファインダのどちらを使っても構図を決めることができます。晴天の明るい屋外で液晶モニタが見づらいときにはビューファインダが有効です。

1 ボタンを押す。

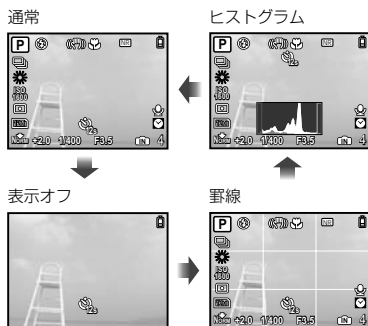
- 押すたびに液晶モニタ表示とビューファインダ表示が切り替わります。

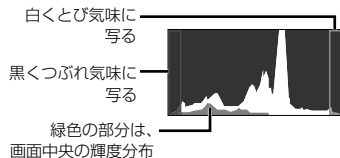
ビューファインダを見やすくするには

ビューファインダをのぞきながら、視度調整ダイヤルを少しずつ回して、画面表示がはっきり見えるように調整します。

撮影情報表示を切り替える

画面上の情報表示を消したり、構図を確認するために罫線を表示するなど、状況に応じて画面表示を切り替えることができます。

1 DISP.ボタンを押す。

- 押すたびに撮影情報表示が切り替わります。「撮影モード表示」（p. 8）

［ヒストグラム表示］（p. 57）

ヒストグラム表示の意味

露出/ピント位置を固定して撮影する（AEロック/AFロック）

撮影モードで、いったん被写体に露出/ピント位置を合わせれば、構図を変えても露出、ピント位置、あるいはその両方を固定したまま撮影を続ける（AEロック、AFロック、AFロック+AEロック）ことができます。

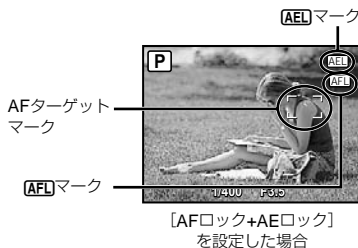
1 ボタンに［AEロック］［AFロック］［AFロック+AEロック］のいずれかを割り当てる。

- お買い上げ時には、［AEロック］が割り当てられています。

［カスタムボタン］（p. 58）

2 構図を決めて、ボタンを押す。

- 手順1で割り当てた露出/ピント位置が固定されます。

［AFロック+AEロック］を設定した場合

AEロック/AFロックを解除するには

もう一度ボタンを押してAFL/AELマークを消します。

3 撮影する構図にしてからシャッターボタンを全押しする。

ボタンに割り当てた機能を使う（カスタムボタン）

使用頻度の高い機能をあらかじめ登録しておくことができます（AUTO、BEAUTY、は除く）。登録すると、メニュー画面から画面を表示するのではなく、ボタンで直接設定することができます。

［カスタムボタン］（p. 58）

1 ボタンを押す。

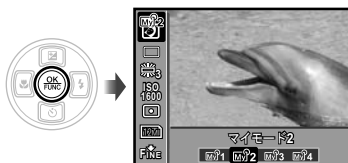
2 で設定項目を選び、ボタンを押して確定する。

FUNCメニューを使う

以下のメニュー機能を、すばやく呼び出して設定することができます。

- ［ドライブ］（p. 34）
- ［ホワイトバランス］（p. 33）
- ［測光］（p. 35）
- ［画質］（p. 32）
- ［マイモード設定］（p. 57）
- ［ISO感度］（p. 34）

モードダイヤルが位置のときは、1 ～ 4を選ぶことができます。

1 撮影待機中にボタンを押す。

2 でメニュー機能を、で設定項目を選び、ボタンを押して確定する。

再生機能を使いこなす

インデックス再生・カレンダー再生・クローズアップ再生

インデックス再生/カレンダー再生では、すばやく目的の画像を選ぶことができます。クローズアップ（最大で10倍）再生では画像を細部まで確認することができます。

1 ズームレバーを回す。

W側　T側

1コマ再生

W　T

クローズアップ再生

W　T

インデックス再生

T　W

W　T

W　T

W

カレンダー再生

インデックス再生で画像を選ぶには

で画像を選び、OKボタンを押すと、選んだ画像の1コマ再生に戻ります。

カレンダー再生で画像を選ぶには

で日付を選び、OKボタンを押すか、ズームレバーをT側に回すと、選んだ日付に撮影した画像が表示されます。

クローズアップ再生で画面をスクロールするには

で再生位置を移動できます。

画像情報表示を切り替える

撮影時の設定内容を切り替えて表示することができます。

1 **DISP.**ボタンを押す。

- 押すたびに画像情報表示が切り替わります。

通常　ヒストグラム

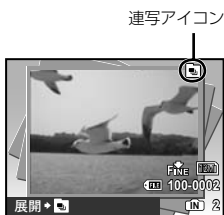
詳細　表示オフ

［ヒストグラム表示］（p. 57）、「ヒストグラム表示の意味」（p. 28）

連続撮影した画像を再生する

次の機能で連続撮影した画像は、最初の1コマ目のみ表示されます。
[連写]、[高速連写1]、[高速連写2]、[AF連写]、[BKT]、[インターバル撮影]、[スマイルショット]

1 再生中に連写アイコン付きの画像を選ぶ。

「撮った画像を再生する」(p. 20)

連写アイコン

自動再生するには
ボタンを押します。連写枚数分の画像が自動再生されます。

インデックス表示をするには
ボタンを押します。元に戻すときは、もう一度ボタンを押します。

1コマ目を表示しているときに[プロテクト](p. 49)、[回転表示](p. 49)、[プリント予約](p. 50)、[1コマ消去](p. 20)を行うと、連続撮影したすべての画像に設定されます。
連続撮影した個別の画像に設定するときは、インデックス表示にしてから設定してください。

パノラマ画像を再生する

[カメラで合成1]、[カメラで合成2]で合成したパノラマ画像をスクロール再生することができます。

[パノラマ](p. 43)

1 再生中にパノラマ画像を選ぶ。

「撮った画像を再生する」(p. 20)

2 ボタンを押す。

現在再生中の範囲

パノラマ画像再生中の操作

拡大/縮小 ：ズームレバーを回す。
再生方向 ：拡大再生中にを押すと、押したボタンの方向にスクロールします。
一時停止 ：ボタンを押す。
スクロールを再開：
ボタンを押す。
再生中止 ：**MENU**ボタンを押す。

撮影に関連するメニュー

モードダイヤルが撮影モードのとき設定することができます。

- ◎の次にあるアイコンは、モードダイヤル位置をこのマークに合わせると、機能を設定できることを表します。
- 　　は、初期設定を表します。

用途に合わせて画質を選ぶ［画質］

画質

◎ : AUTO P A S M MY SCN BEAUTY

静止画

サブメニュー1	サブメニュー2	用途
画像サイズ	12M（3968×2976）	A3サイズで印刷する。
	5M（2560×1920）	A4サイズで印刷する。
	3M（2048×1536）	A4サイズ以下で印刷する。
	2M（1600×1200）	A5サイズで印刷する。
	1M（1280×960）	はがきサイズで印刷する。
	VGA（640×480）	テレビで見たり、メールやホームページで使用する。
	16:9L（3968×2232）	風景などの被写体でワイド感を表現したり、ワイドテレビで画面いっぱいに再生する。A3サイズで印刷する。
	16:9S（1920×1080）	風景などの被写体でワイド感を表現したり、ワイドテレビで画面いっぱいに再生する。A5サイズで印刷する。
圧縮モード	ファイン	高画質で閲覧、印刷する。
	ノーマル	標準画質で閲覧、印刷する。

ムービー

サブメニュー1	サブメニュー2	用途
画像サイズ	VGA	画像サイズが640×480になる。テレビ画面いっぱいに再生する。
	QVGA	画像サイズが320×240になる。
フレームレート	30 30fps[*1]	滑らかな画像になる。画像の品質を優先して撮影する。
	15 15fps[*1]	標準的な画質で撮影する。撮影時間の長さを優先して撮影する。

[*1] コマ/秒

- 「内蔵メモリとxD-ピクチャーカードの撮影可能枚数(静止画)/連続撮影可能時間(ムービー)」(p. 75)

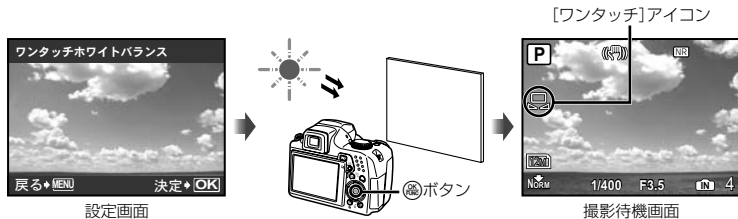
自然な色合いに調整する[ホワイトバランス]

撮影メニュー ▶ ホワイトバランス

: P A S M SCN BEAUTY

サブメニュー 2	サブメニュー 3	用途
オート	—	撮影シーンに応じてカメラが自動的に調整する。
プリセット	晴天	晴れた屋外で撮影する。
	曇天	曇った屋外で撮影する。
	電球	電球の灯りで撮影する。
	蛍光灯1	昼光色の蛍光灯の灯り(家庭用照明器具など)で撮影する。
	蛍光灯2	昼白色の蛍光灯の灯り(デスクスタンドなど)で撮影する。
	蛍光灯3	白色の蛍光灯の灯り(オフィスなど)で撮影する。
ワンタッチ	(設定画面に進む)	[オート]や[プリセット]では調整しきれない微妙な色合いを設定する。

ワンタッチホワイトバランスを設定するには

[ワンタッチ]を選んだあと、影の映っていない白い紙が画面いっぱいになるようカメラを構えて ボタンを押します。

撮影感度を選ぶ［ISO感度］

撮影メニュー ▶ ISO感度

: P A S M My

- 国際標準化機構の略称。デジタルカメラの感度はフィルム感度とともにISO規格で定められているため、感度を表す記号として「ISO100」のように表記します。
- ISO感度は、数値が小さいほど感度は低くなりますが、十分に明るいシーンではシャープな画像を撮ることができます。また数値が大きいほど感度は高くなり、暗いシーンでも速いシャッター速度で撮影ができます。ただし感度が高くなるにつれ電気的なノイズが増え、画像が粗くなります。

サブメニュー 2	用途
オート	撮影シーンに応じてカメラが自動的に調整する。
高感度オート	手ぶれ、被写体ぶれを軽減するために、自動的に［オート］よりも高い感度にカメラが調整する。
64/100/200/400/800/1600/3200/6400	ISO感度の数値を固定する。

- ［3200］［6400］のときは、［画像サイズ］は［5M］以下に制限されます。
- ［ファインズーム］（p. 35）または［デジタルズーム］（p. 35）が［ON］のとき、［3200］［6400］は設定できません。
- **M**モードのときは、［オート］［高感度オート］は設定できません。

シャッターボタンを押している間に連続撮影する［ドライブ］

撮影メニュー ▶ ドライブ

: P A S M My SCN

サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	用途
単写	—	—	シャッターボタンを押すごとに1コマ撮影する。
連写*1			最初の1コマで固定したピント、明るさ（露出）で連写する。
高速連写1			［連写］より高速で連写する。
高速連写2	プリキャプチャー OFF/プリキャプチャー ON	—	約10コマ/秒の速度で連写する。［プリキャプチャー ON］に設定すると、半押ししたときから撮影直前までの10コマ分の画像が同時に保存される。
AF連写	—	—	1コマごとにピントを合わせながら連写する。
BKT	±0.3/±0.7/±1.0	×3/×5	最初の1コマで固定したピント、ホワイトバランスで、1コマごとに自動的に露出を変えて連写する（ブラケット撮影）。撮影時の露出差と撮影枚数を選んで設定できます。

*1 ［画質］（p. 32）の設定により連写速度は異なります。

- [高速連写1]または[高速連写2]のとき、フラッシュは$(発光禁止)に固定され、設定できる[ISO感度]は制限されます。
- [高速連写1]のとき、[画像サイズ]は[5M]以下に制限され、連続撮影枚数は約25枚以下になります。([5M]で[圧縮モード]が[ファイン]のときは、約20枚以下になります。)
- [高速連写2]のとき[画像サイズ]は[3M]以下に制限され、連続撮影枚数は約25枚以下になります。([プリキャプチャー ON]のときは、撮影直前の10枚を含む)

画質を落とさずに光学ズームより大きく撮る[ファインズーム]

撮影メニュー ▶ ファインズーム

: P A S M MY SCN BEAUTY

サブメニュー 2	用途
OFF	光学ズームだけで拡大して撮影する。
ON	光学ズームと画像切り出しを組み合わせ拡大して撮影する(最大39倍)。

- 少ない画素数のデータを多い画素数に変換する処理を行わないために、これによる画質の劣化はありません。
- [ON]のとき、[画像サイズ]は[3M]以下に制限されます。
- [ON]のとき、[デジタルズーム]は自動的に解除されます。
- [s スーパーマクロ] (p. 26)のとき、[ファインズーム]は設定できません。

光学ズームより大きく撮る[デジタルズーム]

撮影メニュー ▶ デジタルズーム

: P A S M MY SCN BEAUTY

サブメニュー 2	用途
OFF	光学ズームだけで拡大して撮影する。
ON	光学ズームと組み合わせ拡大して撮影する(静止画:最大約130倍/ムービー:最大約78倍)。

- [ON]のとき、[ファインズーム]は自動的に解除されます。
- [s スーパーマクロ] (p. 26)のとき、[デジタルズーム]は設定できません。

明るさを測る範囲を選ぶ[測光]

撮影メニュー ▶ 測光

: P A S M MY SCN

サブメニュー 2	用途
ESP	画面全体で明るさのバランスのとれた撮影をする(画面の中央と周辺を個別に測光します)。
スポット	逆光のとき中央の被写体を撮影する(AFターゲット内のみを測光します)。
中央重点	周辺部の明るさに影響されずに撮影する(画面の中央部に重点をおいた広い範囲を測光します)。

- [ESP]のとき、強い逆光下での撮影では、中央が暗く写ることがあります。

ピントを合わせる範囲を選ぶ[AF方式]

撮影メニュー ▶ AF方式

: P A S M MY SCN

サブメニュー 2	用途
顔検出[*1]	人物を撮影する(カメラが自動的に顔を検出しピントを合わせます)。
iESP	ピント合わせをカメラまかせにして撮影する(ピントを合わせる被写体はカメラが画面内から探して、自動的にピントを合わせます)。
スポット	AFターゲット内の被写体にピントを合わせる。
ターゲット選択	AFターゲットマークの位置を移動させて、被写体が画面中央以外に位置する構図でピントを合わせる。

*1 被写体によっては、枠が現れなかったり、現れるまでに時間がかかることがあります。

[ターゲット選択]でAFターゲットマークを移動・固定するには

でAFターゲットマーク( )を移動します。AFターゲットマークがになるまでボタンを長押しして固定します。再度移動するには、AFターゲットマークがになるまでボタンを長押しします。

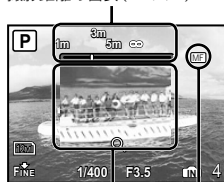
ピント合わせの方法を変更する[フォーカスモード]

撮影メニュー ▶ フォーカスモード

: P A S M MY SCN

サブメニュー 2	用途
AF	シャッターボタンを半押しすると、カメラが自動でピントを合わせます。
MF	手動でピントを合わせます。

[MF]に設定したときには

撮影距離の目安(MFバー)

拡大表示　MFマーク

① 拡大表示でピントを確認しながら、でピントを合わせる。

MFバーの表示単位を選ぶことができます。[m/ft設定](p. 58)

ピントを固定するには

MFマークが赤色になるまでボタンを押します。固定を解除するにはMFマークが緑色に戻るまでボタンを押します。

被写体を追ってピントを合わせ続ける[フルタイムAF]

撮影メニュー ▶ フルタイムAF

: P A S M MY SCN BEAUTY

サブメニュー 2	用途
OFF	シャッターボタンを半押ししたときにピントを合わせ固定する。
ON	シャッターボタンを半押ししなくても、常にレンズの前のものに自動的にピントを合わせ続ける(ピント合わせの時間が短縮され、シャッターチャンスを逃しません)。

ムービー撮影中も自動的に被写体にピントを合わせ続けます。

前後に移動する被写体にピントを合わせる[動体予測AF]

撮影メニュー ▶ 動体予測AF

: P A S M MY SCN

サブメニュー 2	用途
OFF	シャッターボタンを半押ししたときにピントを合わせ固定する。
ON	シャッターボタンを半押ししている間、動く被写体にピントを合わせ続ける(ピント合わせの時間が短縮され、シャッターチャンスを逃しません)。

被写体によっては[ON]にしてもピントが合わないことがあります。

[マクロ]または[Sスーパーマクロ](p. 26)のときは[動体予測AF]は設定できません。

補助光を使って暗いところの被写体にピントを合わせやすくする[AFイルミネータ]

撮影メニュー ▶ AFイルミネータ

: P A S M MY SCN BEAUTY

サブメニュー 2	用途
OFF	AFイルミネータを使わない。
ON	シャッターボタンを半押しして点灯するAFイルミネータを使ってピントを合わせる。

撮影時の手ぶれを補正する[手ぶれ補正]

撮影メニュー ▶ 手ぶれ補正

: P A S M MY SCN BEAUTY

サブメニュー 2	用途
OFF	手ぶれ補正機能なしで撮影する(三脚使用時などカメラを固定して撮影するときに設定します)。
ON	手ぶれ補正機能を使って撮影する(シャッターボタンを半押しすると補正機能が動作しはじめます)。

[手ぶれ補正](静止画)が[ON]のときにシャッターボタンを押すと、手ぶれを補正するためにカメラ内部から音がすることがあります。

夜間撮影など、シャッター速度が極端に遅くなるときは、補正が効きにくくなることがあります。

手ぶれが大きすぎると、補正しきれないときがあります。

[ON]のとき、長時間ムービー撮影を続けると、カメラの内部温度が上がり、自動的に撮影が停止することがあります。

フラッシュの光量を調整する[フラッシュ補正]

撮影メニュー ▶ フラッシュ補正

: P A S M MY SCN BEAUTY

被写体が小さい、被写体の背景が遠いなど、場合によってはフラッシュの発光量を調節したほうが良いことがあります。また、コントラスト(明暗差)を意図的につけたいときにもこの機能が便利です。

サブメニュー 2	用途
-2.0 ～ +2.0	撮影シーンに応じて発光量を調節する。

外部フラッシュを使う[フラッシュ選択]

撮影メニュー ▶ フラッシュ選択

: P A S M MY SCN BEAUTY

サブメニュー 2	サブメニュー 3	用途
内蔵	—	内蔵フラッシュを使って撮影する。
RC	CH1 ～ CH4	オリンパスワイヤレスRCフラッシュシステム対応のフラッシュを使って撮影する。チャンネル(CH1～4)を選ぶことができます。
スレーブ	1 ～ 10	フラッシュ光に同期して発光する市販のスレーブフラッシュを使って撮影する。発光量を選ぶことができます。

「オリンパスワイヤレスRCフラッシュシステムを使って撮る」(p. 76)

[スレーブ]のときは、フラッシュの設定が自動的に[強制発光](p. 25)になります。

[スレーブ]設定時、[ドライブ](p. 34)を[単写]以外に設定してもフラッシュを発光することができますが、発光量を大きくすると、連写の間隔が長くなります。

静止画撮影時に音声を録音する[静止画録音]

撮影メニュー ▶ 静止画録音

: P A S M MY SCN

サブメニュー 2	用途
OFF	録音しない。
ON	撮影後、自動的に約4秒間録音する(撮影メモとしてコメントなどを録音すると便利です)。

録音するときは、カメラの録音マイク(p. 50)を音源に向けてください。

色合い(ホワイトバランス)を調整する[WB補正]

撮影メニュー ▶ WB補正

: P A S M MY SCN BEAUTY

① で色合いを微調整し、ボタンを押して設定する。

[BLUE](青み)/[RED](赤み)方向にそれぞれ7段階調整できます

[ホワイトバランス](p. 33)

画像の色調を選ぶ[仕上がり]

撮影メニュー ▶ 仕上がり

: P A S M MY

サブメニュー 2	用途
VIVID	鮮やかな色合いに仕上げる。
NATURAL	自然な色合いに仕上げる。

輪郭の鮮鋭さを調整する[シャープネス]

撮影メニュー ▶ シャープネス

: P A S M MY SCN BEAUTY

サブメニュー 2	用途
-5 ～ +5	輪郭の鮮鋭さを調節する。+方向でよりシャープに、-方向でよりソフトになります。

+方向に調整しすぎると、画像にノイズが目立つことがあります。

明暗の差を調整する[コントラスト]

撮影メニュー ▶ コントラスト

: P A S M MY SCN BEAUTY

サブメニュー 2	用途
-5 ～ +5	明暗の差を調節する。+方向でよりメリハリのある画像に、-方向でより柔らかい印象の画像になります。

色の濃さを調整する[彩度]

撮影メニュー ▶ 彩度

: P A S M MY SCN BEAUTY

サブメニュー 2	用途
-5 ～ +5	色の濃さを調節する。+方向でより濃く、-方向でより薄くなります。

長時間露出時のノイズを軽減する[ノイズリダクション]

撮影メニュー ▶ ノイズリダクション

: P A S M MY SCN

サブメニュー 2	用途
OFF	速いシャッター速度で撮影をする(ノイズ軽減処理をしない)。
ON	遅いシャッター速度で撮影をする(ノイズ軽減処理をする)。シャッター速度が1/2秒より遅いときに動作します。

[ON]のときには、撮影後のデータ処理にかかる時間は通常の2倍になり、この間、次の撮影はできません。

撮影条件や被写体により効果が出にくいことがあります。

シャッター速度が[BULB]のときは[ON]に固定されます。「絞り値とシャッター速度を選んで撮る(Mモード)」(p. 22)

設定した間隔と枚数で撮る[インターバル撮影]

撮影メニュー ▶ インターバル撮影

: P A S M MY SCN

サブメニュー2	サブメニュー3	サブメニュー4	用途
OFF	—	—	インターバル撮影機能なしで撮影する。
ON	2 ～ 99	1 ～ 99 分	インターバル撮影機能を使って撮影する。撮影枚数と撮影間隔を選ぶことができます。

インターバル撮影をするには

[ON]にして撮影枚数と撮影間隔を設定したあとシャッターボタンを押すと、1枚目が撮影され、2枚目以降は自動的に撮影が繰り返されます。1枚目の画像の記録が終わると自動的にスリープモード(p. 58)に入ります。次の撮影の7秒前までにスリープモードから自動的に復帰します。設定した枚数の撮影が終わると、自動的に電源が切れます。

- 撮影が長時間におよぶときは、新しい電池またはACアダプタをお使いください。
- スリープモード中に以下の操作をしたとき、[インターバル撮影]は解除され、通常の撮影モードに戻ります。
  電池カバーまたはカードカバーを開けた/カメラをパソコンに接続した/シャッターボタン、十字ボタンなどのいずれかのボタンを操作した
- スリープモード中に内蔵メモリ、カードあるいは電池の残量がなくなると、警告表示のあと[インターバル撮影]が解除され自動的に電源が切れます。

コンバージョンレンズを使って撮る[]

撮影メニュー ▶

: P A S M MY SCN BEAUTY

サブメニュー2	用途
OFF	カメラ本体だけで撮影する。
ON	別売の専用コンバージョンレンズを取り付けて撮影する。

- コンバージョンレンズを取り付けると、内蔵フラッシュの光はけられます(コンバージョンレンズの影が画面に写ります)。
- コンバージョンレンズを取り付けると、ピント合わせに時間がかかることがあります。

ムービー撮影時に音声を録音する[ムービー録音]

撮影メニュー ▶ ムービー録音

:

サブメニュー2	用途
OFF	録音しない。
ON	ムービー撮影時に録音する。

- 音源がカメラから1m以上離れるときれいに録音されないことがあります。
- [ON]のとき[手ぶれ補正](p. 37)は設定できません。
- [ON]のとき[フルタイムAF](p. 37)を[ON]に設定すると、レンズの作動音が録音されることがあります。

撮影シーンに合ったモードを選ぶ [SCN]

SCN

: SCN

SCNモードには、撮影シーン別に最適な撮影設定がプログラムされています。そのため、モードによってはあとから設定を変更できない機能があります。

サブメニュー1	用途
ポートレート/風景/スポーツ/夜景[*1]/夜景＆人物/屋内撮影/キャンドル/夕日/打ち上げ花火[*1]/多重露光花火/多重露光/料理/文書/スマイルショット/ビーチ＆スノー/野鳥/背景ぼかし/プリキャプチャムービー/シャッターチャンス	撮影シーンに合ったモードで撮影する。

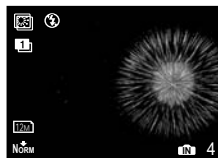
[*1] 被写体が暗いときは[ノイズリダクション](p. 39)が自動的に働きます。そのときは撮影時間が通常の2倍になり、その間次の撮影はできません。

サンプル画像とどのような撮影に適しているかの説明が画面に表示されます。また、?ボタンを押し続けても説明は表示されます。

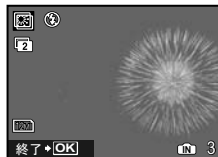
モードを選ぶには

「撮影シーンに合ったモードを使う(SCNモード)」(p. 21)

打ち上げ花火を重ね撮りするには ([多重露光花火]モード)

① [多重露光花火]を選ぶ。

② シャッターボタンを押して1コマ目を撮影する。

- 1コマ目で露出が固定され、保存された画像が背景として表示されます。

1コマ目を撮り直すときは、OKボタンを押してからもう一度シャッターボタンを押します。

③ 1コマ目の画像を背景に、2コマ目に撮る花火の位置を調整してから、シャッターボタンを押す。

- 合成された画像が、1、2コマ目とは別の画像として保存されます。

2コマ目を撮り直すときは、もう一度シャッターボタンを押します。

重ね撮りするには（[多重露光]モード）

撮影方法は[多重露光花火]モード(p. 41)と同じです。[多重露光花火]では、撮影に関する設定の変更はできませんが、[多重露光]では設定の変更が可能です。

笑顔を検出して自動でシャッターを切るには（[スマイルショット]モード）

① [スマイルショット]を選んだあと、カメラを被写体に向ける。

- セルフタイマーランプが点灯します。笑顔を検出すると、自動で3コマ連写します。

手動でシャッターボタンを押しても撮影できます。

被写体によっては、笑顔を検出できないことがあります。

[画像サイズ]は[3M]以下に制限されます。

一瞬のチャンスを逃したくないときは（[プリキャプチャムービー]モード）

① で[プリキャプチャムービー]を選び、ボタンを押して確定する。

- 確定した直後からプリキャプチャーの準備がはじまります。

② シャッターボタンを押してムービー撮影をはじめる。

- シャッターボタンを押す前の約2秒間を含む約7秒間のムービー撮影ができます。
- 撮影中は光学ズームが使用でき、オートフォーカスも動作します。

音声は録音できません。

AFターゲットマークは表示されません。

[画像サイズ]は[VGA] / [QVGA]から、[フレームレート]は[30] / [15]から選択します。

一瞬のチャンスを逃さず撮影するには（[シャッターチャンス]モード）

① [シャッターチャンス]を選んだあと、シャッターボタンを押して撮影する。

- 通常よりもレリーズタイムラグ(シャッターボタンを押してから、実際にシャッターが切れるまでの時間)が短くなります。

[フルタイムAF]（p. 37)が自動的に[ON]になります。

[ドライブ]（p. 34)は[高速連写1]と[高速連写2]が選べます。

背景をぼかして撮るには（[背景ぼかし]モード）

① で[背景ぼかし]を選び、ボタンを押して確定する。

② でフレームを選び、ボタンを押す。

- 「顔」「上半身」「全身」「円」から選びます。

③ 被写体をフレームに合わせて撮影する。

- フレームはで移動できます。

パノラマ撮影をする[パノラマ]

パノラマ

: P SCN

サブメニュー 2	用途
カメラで合成1[*1*2]	写真を3コマ撮り、カメラで合成する(ターゲットマークとポインタを重ねるように構図を決めるだけで自動的にシャッターが切れます)。各種撮影機能は、あらかじめパノラマ写真に最適な設定に固定されます。
カメラで合成2[*2]	写真を3コマ撮り、カメラで合成する(ガイド枠を目安に構図を決め、手動でシャッターを切ります)。
PCで合成	撮影した画像をOLYMPUS Master 2(付属のCD-ROMに収録)でパノラマ写真に合成する。[パノラマ]に切り替えるときの[ISO感度]、[SCN]設定で撮影ができます(一部のシーンモードを除く)。

[*1] SCNモードのときは、設定できません。
[*2] [画質](p. 32)設定は変えられません。

- ピント、露出(p. 19)、ズーム位置(p.24)、[ホワイトバランス](p. 33)は、1枚目の撮影で固定されます。
- 光学ズームは10倍までに制限されます。
- フラッシュは(発光禁止)(p. 25)に固定されます。
- パノラマ画像は、[逆光自動調整](p. 46)を使った編集のみ可能です。
- 「パノラマ画像を再生する」(p. 31)

[カメラで合成1]で撮影するには

① シャッターボタンを押して1コマ目を撮影する。
② 2コマ目を撮る方向にカメラを少し向ける。

左から右へ画像をつなぐ場合

③ カメラをゆっくりとまっすぐに動かし、ポインタがターゲットマークに重なる位置でカメラを止める。
- 自動的にシャッターが切れます。

- 2コマだけ合成するときは、3コマ目の画像を撮影する前にボタンを押します。

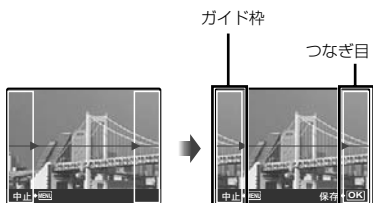
④ 手順③と同様に3コマ目を撮影する。
- 3コマ目の撮影が終わると自動的に合成処理が行われ、合成された画像が表示されます。

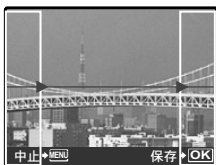
- 撮影の途中で合成を中止するには、MENUボタンを押します。
- 自動でシャッターが切れないときは、[カメラで合成2]または[PCで合成]を選びます。

[カメラで合成2]で撮影するには

① で画像をつなぐ方向を選ぶ。

② シャッターボタンを押して1コマ目を撮影する。

- ガイド枠が目安として表示されます。

1コマ目

③ つなぎ目がガイド枠と重なるように2コマ目の構図を決める。

2コマ目の構図

④ シャッターボタンを押して2コマ目を撮影する。

2コマだけ合成するときは、3コマ目の画像を撮影する前にボタンを押します。

⑤ 手順③ ～ ④と同様に3コマ目を撮影する。

- 3コマ目の撮影が終わると自動的に合成処理が行われ、合成された画像が表示されます。

撮影の途中で合成を中止するときは、**MENU**ボタンを押します。

[PCで合成]で撮影するには

① で画像をつなぐ方向を選ぶ。

② シャッターボタンを押して1コマ目を撮影し、2コマ目の構図で構える。

- ガイド枠を目安に、隣り合う2コマの画像が重なる構図で構えます。

③ 手順②を繰り返して必要なコマ数を撮影し、最後にボタンを押す。

警告マークが表示されると、それ以上撮影を続けられません。最大10コマまでパノラマ撮影が可能です。

パノラマ写真の合成手順はOLYMPUS Master 2のヘルプをご覧ください。

撮影機能を初期設定に戻す[リセット]

リセット

: AUTO P A S M SCN BEAUTY

サブメニュー1	用途
実行	以下のメニュー機能を初期設定に戻す。 • 顔検出パーフェクトショット(p. 24) • フラッシュ(p. 25) • 露出補正(p. 26) • マクロ(p. 26) • セルフタイマー(p. 27) • [画質](p. 32) • [SCN](p. 41) • [撮影メニュー]内の機能(p. 33 ～ 40) • 液晶モニタ/ビューファインダ切り替え(p. 27)
中止	現在の設定を残す。

再生・編集・プリントに関連するメニュー

モードダイヤルが▶のときに設定することができます。

画像を自動再生する[スライドショー]

スライドショー

サブメニュー1	サブメニュー2	サブメニュー3	用途
すべて*1*2/ 静止画/ ムービー *1*2/ カレンダー *1*2*3	標準/スクロール/ フェード/スライド/ ズームダウン/ ズームアップ/ モザイク/ブラインド/ キューブスピン/ランダム	OFF/標準/スピード/ サイバー /アクア/ 木漏れ日	スライドショーを実行する範囲と画像の転換効果(スタイル選択)、スライドショー中に流す音楽(BGM)を選ぶ。

*1 [スタイル選択]は、[標準]固定になります。
*2 [BGM]が[OFF]でムービーのときはムービーの音声を再生します。
*3 [カレンダー]のときは、カレンダー再生画面から日付を選択します。

スライドショーをはじめるには

[BGM]の設定を確定をしてOKボタンを押すと、スライドショーがはじまります。スライドショーを中止するには、OKボタンまたは**MENU**ボタンを押します。

画像を補正する[かんたん補正]

かんたん補正

- すでに編集、補正済みの画像は、補正できません。
- 画像によっては、補正効果が得られないことがあります。
- 補正により画像が粗くなることがあります。

サブメニュー1	用途
すべて	[逆光自動調整]と[赤目補正]を同時に行う。
逆光自動調整	逆光や光量不足などで暗くなった部分を明るくする。
赤目補正	フラッシュ撮影で赤くなった目の色を補正する。

① 上下で補正項目を選び、OKボタンを押す。
② 左右で補正する画像を選び、OKボタンを押す。
- 補正した画像が、別画像として保存されます。

肌や目を補正する[ビューティーメイク]

ビューティーメイク

- 画像によっては、補正効果が得られない場合があります。

サブメニュー1	サブメニュー2	用途
すべて	—	[クリアースキン][シャイニーアイ][ドラマチックアイ]を同時に行う。
クリアースキン	弱/中/強	なめらかな肌に補正する。補正効果を3段階から選ぶことができる。
シャイニーアイ	—	瞳のコントラストを強調する。
ドラマチックアイ	—	目を大きくする。

① 上下で補正項目を選び、OKボタンを押す。
② 左右で補正する画像を選び、OKボタンを押す。
- 補正した画像が、別画像として保存されます。

[クリアースキン]を選んだ場合
🅔🅕で補正レベルを選び、Ⓞボタンを押す。

画像のサイズを変える[リサイズ]

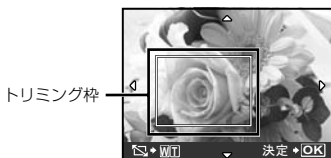
編集 ▶ リサイズ

サブメニュー 2	用途
VGA 640×480	大きいサイズで撮った画像を、メール添付用などのために小さい別画像として保存する。
QVGA 320×240	

① 🅘🅙で画像を選び、Ⓞボタンを押す。
② 🅔🅕で画像サイズを選び、Ⓞボタンを押す。
- リサイズされた画像が、別画像として保存されます。

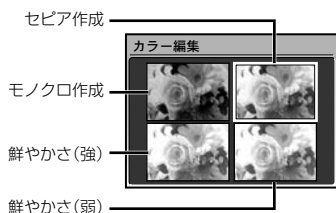
画像の一部を切り出す[トリミング]

編集 ▶ トリミング

① 🅘🅙で画像を選び、Ⓞボタンを押す。
② ズームレバーでトリミング枠の大きさを選び、🅔🅕🅘🅙で枠を移動する。

③ Ⓞボタンを押す。
- 編集した画像が、別画像として保存されます。

画像の色合いを変える[カラー編集]

編集 ▶ カラー編集

サブメニュー 2	用途
モノクロ作成	白黒写真にする。
セピア作成	セピア色のモノトーン写真にする。
鮮やかさ（強）	彩度（色の濃さ）を強くした写真にする。
鮮やかさ（弱）	彩度（色の濃さ）をやや強くした写真にする。

① 🅔🅕🅘🅙でお好みの編集画像を選び、Ⓞボタンを押す。
- 選んだ編集画像が、別画像として保存されます。

画像とカレンダーを合成する［カレンダー合成］

編集 ▶ カレンダー合成

1. で合成に使う画像を選び、ボタンを押す。
2. でカレンダーを、で画像の向きを選び、ボタンを押す。
3. でカレンダーの[年]を選びを押す。
4. でカレンダーの[月]を選び、ボタンを押す。
   - 編集した画像が、別画像として保存されます。

周辺部をぼかして顔を強調する［センターフォーカス］

編集 ▶ センターフォーカス

正面向きで一番大きく写っている顔が、編集の対象となります。画像によっては、この条件に合った部分を検出できず、編集できないことがあります。

1. で編集する画像を選び、ボタンを押す。
   - 編集した画像が、別画像として保存されます。

ムービーから9場面を切り出す［インデックス作成］

編集 ▶ インデックス作成

ムービーのインデックス画像として保存すると、撮影内容を確認するときに便利です。自動で切り出した場面を微調整して選び直すこともできます。

1. でムービーを選び、ボタンを押す。

自動で切り出した場面

場面の微調整が必要ないときは、手順②、③では、ボタンだけを押します。

2. でコマ送り/コマ戻ししながら先頭コマの画像を選び、ボタンを押す。
   - 先頭/後尾コマの指定中は、でムービーの先頭/後尾に移動できます。
3. でコマ戻し/コマ送りしながら後尾コマの画像を選び、ボタンを押す。
   - ムービーから切り出された9コマの画像が1コマの別画像に合成され保存されます。

ムービーの一部を切り出す[ムービー編集]

編集 ▶ ムービー編集

サブメニュー2	用途
新規作成	オリジナルのムービーはそのままに、ムービーの一部を別画像として保存する。
上書き保存	指定したムービーの一部だけを残して、上書き保存する。

① でムービーを選ぶ。
② で[新規作成]または[上書き保存]を選び、ボタンを押す。
③ で切り出す部分の先頭コマを選び、ボタンを押す。
- 先頭/後尾コマの指定中は、でムービーの先頭/後尾に移動できます。

④ で切り出す部分の後尾コマを選び、ボタンを押す。
- 切り出したムービーが保存されます。

ムービーの1場面を静止画として切り出す[切り出し]

編集 ▶ 切り出し

① でムービーを選び、ボタンを押す。
② で切り出すコマを選び、ボタンを押す。
- でムービーの先頭/後尾に移動できます。
- 選んだコマが静止画として保存されます。

画像を消去できないようにする[プロテクト]

再生メニュー ▶ プロテクト

プロテクトされた画像は[1コマ消去](p. 20)、[選択消去][全コマ消去](p. 50)では消去できませんが、[内蔵メモリ初期化]/[カード初期化](p. 51)を行うと消去されます。

サブメニュー2	用途
OFF	画像を消去できる状態にする。
ON	内蔵メモリ/カードの初期化以外の方法で消去できないように画像を保護する。

① で画像を選ぶ。
② で[ON]を選ぶ。
③ 必要に応じて手順①、②を繰り返して保護する設定を続け、最後にボタンを押す。

画像を回転させる[回転表示]

再生メニュー ▶ 回転表示

サブメニュー2	用途
+90°	画像を時計回りに90°回転させて表示する。
0°	画像を回転させずに表示する。
–90°	画像を反時計回りに90°回転させて表示する。

① で画像を選ぶ。
② で回転方法を選ぶ。
③ 必要に応じて手順①、②を繰り返して他の画像にも続けて設定を行い、最後にボタンを押す。

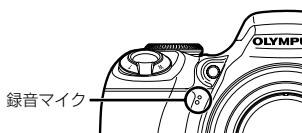
[回転表示]の設定は電源を切ったあとも保持されます。

静止画に音声を追加する[録音]

▶再生メニュー ▶ 録音

サブメニュー2	用途
実行	静止画の再生中に約4秒間、音声を追加(録音)する(撮影メモとしてコメントなどを録音すると便利です)。
中止	録音しない。

① ◀▶で画像を選ぶ。

② 録音マイクを音源に向ける。

③ ▲▼で[実行]を選び、OKボタンを押す。

- 録音がはじまります。

場面を選んで再生をはじめる[チャプター]

▶再生メニュー ▶ チャプター

① ◀▶でムービーを選び、OKボタンを押す。

② ズームレバーで分割するチャプターの数を選ぶ。

- 1つのムービーを4/9/16/25の4種類のチャプターに分けることができます。

③ ▲▼◀▶でチャプターを選び、OKボタンを押す。

- 選んだチャプターから再生がはじまります。

画像を消去する[🗑消去]

🗑消去

消去の前に大切なデータが記録されていないことを確認してください。

サブメニュー1	用途
選択消去	画像を1コマずつ選びながら消去する。
全コマ消去	内蔵メモリ/カードの画像をすべて消去する。

内蔵メモリの画像を消去するときは、カードをカメラに入れないでください。

カード内の画像を消去するときは、あらかじめカードをカメラに入れてください。

[選択消去]するには

① ▲▼で[選択消去]を選び、OKボタンを押す。

② ▲▼◀▶で画像を選び、OKボタンを押して✓マークをつける。

③ 手順②を繰り返して消去する画像を選び、最後に🗑ボタンを押す。

④ ▲▼で[消去]を選択し、OKボタンを押す。

- ✓マークをつけた画像が消去されます。

[全コマ消去]するには

① ▲▼で[全コマ消去]を選び、OKボタンを押す。

② ▲▼で[消去]を選択し、OKボタンを押す。

画像データに印刷設定を記録する[プリント予約]

プリント予約

「プリント予約(DPOF)」(p. 63)

プリント予約はカードに記録された静止画だけに設定できます。

カメラの設定に関連するメニュー

データを完全に消去する [内蔵メモリ初期化] / [カード初期化]

設定 ▶ [内蔵メモリ初期化] / [カード初期化]

- 初期化の前には、大切なデータが記録されていないことを確認してください。
- 当社製以外のカードやパソコンで初期化したカードは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

サブメニュー 2	用途
する	内蔵メモリ[*1]またはカードの画像データ(プロテクトをかけた画像を含む)を完全に消去する。
しない	初期化をキャンセルする。

[*1] 内蔵メモリを初期化するときは、カードを取り出しておいてください。

内蔵メモリからカードへ画像をコピーする [データコピー]

設定 ▶ データコピー

サブメニュー 2	用途
する	内蔵メモリの画像データをカードにコピーする。
しない	コピーをキャンセルする。

- データコピーは時間がかかります。データコピーの際には十分に残量がある電池、またはACアダプタをお使いください。

表示言語を切り替える [言語]

設定 ▶ 言語

サブメニュー 2	用途
日本語/ENGLISH	液晶モニタに表示されるメニューやエラーメッセージの言語を選ぶ。

- OLYMPUS Master 2を使って、表示する言語を増やすことができます。詳しくはOLYMPUS Master 2のヘルプをご覧ください。

電源を入れたときの表示画面と電子音を設定する [PW ON設定]

設定 ▶ PW ON設定

サブメニュー 2	サブメニュー 3	用途
画面	OFF	表示しない。
	1	あらかじめ登録されている画像[*1]を起動時に表示する。
	2	内蔵メモリ/カードに記録された静止画像を登録して起動時に表示する。(設定画面に進む)
音量[*2]	OFF(無音)/小/大	起動時に鳴る音量を選ぶ。

[*1] この画像は変更できません。
[*2] [画面]が[OFF]のときは設定できません。

起動画面を登録するには

① [画面]のサブメニュー 3で[2]を選ぶ。
② で登録する画像を選び、ボタンを押す。

メニュー画面の色や背景を選ぶ[メニュー色設定]

設定 ▶ メニュー色設定

サブメニュー 2	用途
標準/カラー 1/カラー 2/カラー 3	好みに合わせてメニュー画面の色を選ぶ。

カメラの電子音を選ぶ・音量を調節する[音設定]

設定 ▶ 音設定

[消音モード]（p. 59）では電子音を一括して鳴らさないように設定できます。

サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	用途
操作音	種類	1/2	（シャッターボタンを除く）ボタンの操作音と音量を選ぶ。
	音量	OFF（無音）/小/大	
シャッター音	種類	1/2/3	シャッターを切るときの音と音量を選ぶ。
	音量	OFF（無音）/小/大	
警告音	OFF（無音）/小/大	—	警告音の音量を選ぶ。
再生音量	OFF（無音）または5段階の音量	—	画像の再生音量を調節する。

撮影直後に画像を確認する[撮影確認]

設定 ▶ 撮影確認

サブメニュー 2	サブメニュー 3	用途
OFF	—	撮影後、液晶モニタ/ビューファインダで被写体を追いながら次の撮影に備える（撮影した画像を記録中に表示しない）。
ON	LCD	撮影した画像を常に液晶モニタに表示する。
	保持	現在選ばれている表示部（液晶モニタ・ビューファインダ）に、撮影した画像を表示する。「液晶モニタとビューファインダを切り替える」（p. 27）

［ON］のときでも、表示中に次の撮影に入ることができます。

トップメニューの表示部を選ぶ [メニュー表示]

設定 ▶ メニュー表示

サブメニュー 2	用途
LCD	トップメニューを常に液晶モニタに表示する。
保持	現在選ばれている表示部(液晶モニタ/ビューファインダ)に、トップメニューを表示する。

以下の操作をしたとき、[メニュー表示]で選んだ表示部に画面が表示されます。

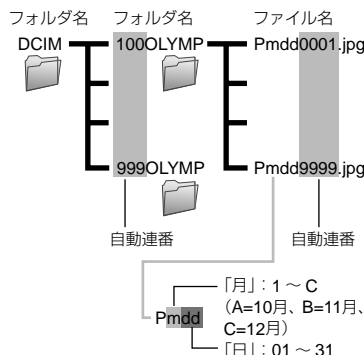
- MENUボタンを押したとき
- 再生モードでボタンを押したとき

液晶モニタを明るくして撮影する [LVブースト]

設定 ▶ LVブースト

サブメニュー 2	用途
OFF	設定した露出に応じた明るさで被写体が表示されます。撮影結果に近い画像を、あらかじめ確認しながら撮影できます。
ON	被写体を確認しやすいように、カメラが明るさを自動的に調整して表示します。露出補正の調整結果は反映されません。

画像ファイル名の連番をリセットする [ファイル名メモリー]

設定 ▶ ファイル名メモリー

サブメニュー 2	用途
リセット	カードを入れ替えたとき、フォルダ名とファイル名の連番をリセットする[*1]（カード別に画像を管理するときに便利です）。
オート	カードを入れ替えても、フォルダ名とファイル名の連番を前のカードから継続する(すべての画像のフォルダ名とファイル名を通し番号で管理するのに便利です)。

*1 フォルダ名の連番は「100」、ファイル名の連番は「0001」に戻ります。

CCDと画像処理機能を調整する [ピクセルマッピング]

設定 ▶ ピクセルマッピング

- この機能は、すでに工場出荷時に調整済みのため、お買い上げ後すぐに調整する必要はありません。調整は、年に一度を目安として行ってください。
- 最適な効果を得るため、撮影・再生直後より約1分以上時間を置いて実行してください。処理中にカメラの電源を切ってしまったときは、必ずもう一度実行してください。

CCDと画像処理機能を調整するには

① [スタート]（サブメニュー 2）表示中に ボタンを押す。

- カメラがCCDと画像処理機能のチェックと調整を同時に行います。

液晶モニタの明るさを調整する [モニタ調整]

設定 ▶ モニタ調整

① 画面を見ながらで明るさを調整し、ボタンを押す。

日付・時刻を設定する [日時設定]

設定 ▶ 日時設定

- 「日時を設定する」（p. 17）

日付の表示順序を選ぶには

① 「分」を設定後にを押し、で日付の表示順序を選ぶ。

時差をつけて日時を設定する [デュアルタイム]

設定 ▶ デュアルタイム

- [デュアルタイム]を[ON]にして設定した日時は、画像ファイル名、日付プリントなどに反映されます。

サブメニュー 2	サブメニュー 3	用途
OFF	—	[日時設定]で設定した日時に切り替える。
ON	（設定画面[*1]に進む）	時差のある地域で使用する際、[日時設定]で設定した日時のほかにもう1つの日時を設定し、切り替えをする。

*1 「日時を設定する」（p. 17）と同じ手順で設定します。

- 「日付の順序」を変更することはできません。

縦位置で撮影した画像を自動的に回転して再生する［縦横方向記録］

設定 ▶ 縦横方向記録

- 撮影時に、再生メニューの［回転表示］（p. 49）の設定を自動的に行います。
- カメラを上向きや下向きにして撮影すると、正しく機能しない場合があります。

サブメニュー 2	用途
OFF	縦横位置情報を画像に記録しないので、縦位置で撮影した画像は回転していない状態で再生される。
ON	撮影時のカメラの縦横位置情報を画像に記録し、自動的に回転して再生される。

テレビに合わせて映像信号方式を選ぶ［ビデオ出力］

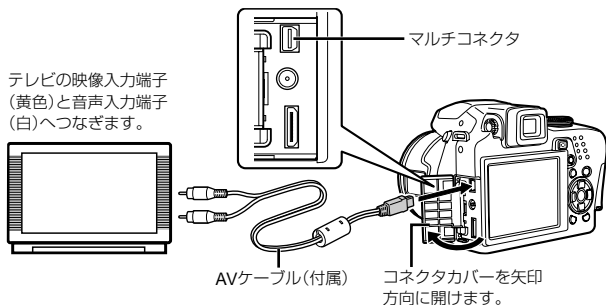
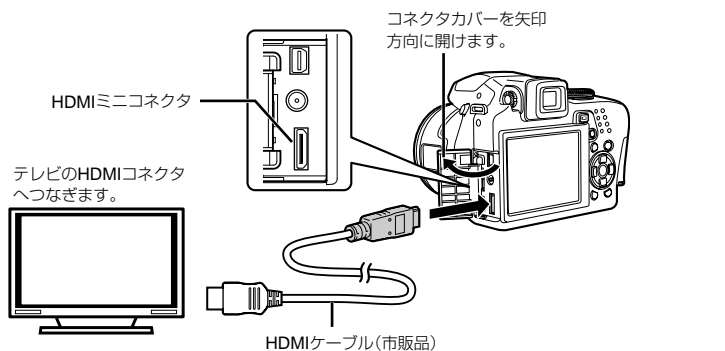
設定 ▶ ビデオ出力

- 国と地域により、テレビの映像信号方式は異なります。テレビでカメラの画像を再生する前に、接続するテレビの映像信号方式と同じ方式を選びます。

サブメニュー 2	用途
NTSC	日本、北米、台湾、韓国などでカメラをテレビに接続して再生する。
PAL	ヨーロッパ諸国、中国などでカメラをテレビに接続して再生する。

カメラの画像をテレビで再生するには

① テレビとカメラを接続する。

- AVケーブルで接続する場合

● HDMIケーブルで接続する場合

② カメラで、接続するテレビの映像信号方式と同じ方式を選ぶ([NTSC] / [PAL])。
③ テレビの電源を入れて「入力」を「ビデオ(カメラを接続した入力端子)」に切り替える。

- テレビの入力切り替えについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- AVケーブルで接続したときは、モードダイヤルを▶にしてください。
- カメラ側はHDMIミニコネクタ、テレビ側はテレビのHDMIコネクタに合ったHDMIケーブルをご使用ください。
- HDMIケーブルで接続したときは、動画の再生画面は表示できません。また、音声は再生されません。
- AVケーブルとHDMIケーブルの両方がカメラとテレビに接続されている場合は、HDMIが優先されます。
- テレビの設定によっては、画像や情報表示の一部が欠けて見えることがあります。

HDMIケーブルでテレビに接続するときのデジタルビデオ信号形式を選ぶ[HDMI]

設定 ▶ HDMI

「カメラの画像をテレビで再生するには」(p. 55)

サブメニュー 2	用途
480p優先	480p形式で再生する。
720p優先	720p形式で再生する。
1080i優先	1080i形式で再生する。

[1080i優先]に設定すると1080iを優先してHDMI出力されますが、テレビ側の入力設定が適合しない場合は、720p、480pの解像度に順次変更します。テレビの入力設定については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

明るさの分布を表示する[ヒストグラム表示]

設定 ▶ ヒストグラム表示

サブメニュー 2	用途
OFF	ヒストグラムを表示しない。
ON	ヒストグラム(露出を決める目安となる明るさの分布)を表示する。
ダイレクト	白とびした部分を赤く、黒つぶれ部分を青く、直接画像上に表示する。

「撮影情報表示を切り替える」(p. 28)、「画像情報表示を切り替える」(p. 30)

よく使う撮影設定を登録する[マイモード設定]

設定 ▶ マイモード設定

サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	用途
現設定	My1 マイモード1/ My2 マイモード2/ My3 マイモード3/ My4 マイモード4	登録/中止	[登録]を選んで、選んだマイモード(My1/My2/My3/My4)に現在のメニュー機能設定を設定する。
クリア		クリア/中止	[クリア]を選んで、選んだマイモードの機能を初期設定に戻す。

マイモード撮影するには

① モードダイヤルをMyに合わせる。
② 使用するマイモードをMy1 ~ My4から選択する。「FUNCメニューを使う」(p. 29)

マニュアルフォーカス時の表示単位を選ぶ［m/ft設定］

設定 ▶ m/ft設定

「ピント合わせの方法を変更する［フォーカスモード］」（p. 36）

サブメニュー 2	用途
m	メートル、センチメートル単位で表示する。
ft	フィート、インチ単位で表示する。

ボタンに機能を割り当てる［カスタムボタン］

設定 ▶ カスタムボタン

「ボタンに割り当てた機能を使う（カスタムボタン）」（p. 29）

サブメニュー 2	用途
AEロック*1/ AFロック*2/AFロック+AEロック*3/ 画像サイズ（p. 32） / 圧縮モード（p. 32） / ファインズーム（p. 35） / デジタルズーム（p. 35） / AF方式（p. 36） / フォーカスモード（p. 36） / フルタイムAF（p. 37） / 動体予測AF（p. 37） / 手ぶれ補正（p. 37） / フラッシュ選択（p. 38） / 静止画録音（p. 38） / ノイズリダクション（p. 39）	割り当てた機能をワンタッチで呼び出して設定する。

*1 露出を固定する機能を割り当てます。
*2 ピント位置を固定する機能を割り当てます。
*3 露出とピント位置を固定する機能を割り当てます。

撮影の合間に電池の消費を抑える［スリープ時間］

設定 ▶ スリープ時間

サブメニュー 2	用途
1分/3分/5分/ 10分	カメラを操作しないとき、液晶モニタ/ビューファインダを自動的に消すなどして電池の消費を抑える（スリープモード）。 スリープモードになるまでの時間を選んで設定します。

スリープモードでさらに約12分放置すると、電源が切れます。

スリープモードを解除するには
シャッターボタン、十字ボタンなどのボタンやモードダイヤルを操作します。

カメラの電子音を鳴らさない [消音モード]

消音モード

サブメニュー 1	用途
OFF	［音設定］（p. 52）で個別に設定した内容になる。
ON	起動音、操作音、シャッター音、警告音、再生音を鳴らさない。

プリントする

ダイレクトプリント（PictBridge*1）

PictBridge対応プリンタにカメラを接続して、撮影した画像を直接プリントすることができます。
お使いのプリンタがPictBridgeに対応しているかどうかは、プリンタの取扱説明書でご確認ください。

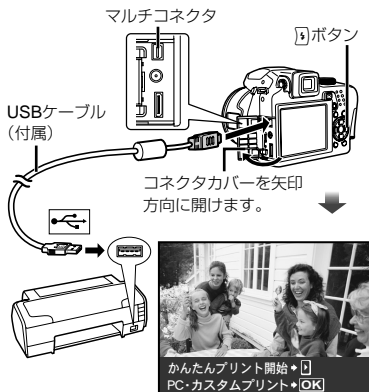
[*1] PictBridgeとは、異なるメーカーのプリンタとデジタルカメラを接続し、画像を直接プリントすることを目的とした規格です。

- このカメラで設定できるプリントモード、用紙サイズなどの設定項目は、お使いのプリンタによって異なります。プリンタの取扱説明書でご確認ください。
- プリントできる用紙の種類、用紙やインクカセットの取り付け方は、お使いのプリンタの取扱説明書でご確認ください。

プリンタの標準設定で画像をプリントする[かんたんプリント]

1 プリントする画像を液晶モニタに表示する。

- 「撮った画像を再生する」（p. 20）
- 電源オフの状態からもプリントをはじめることができます。手順2のあと、⊞⊙で[かんたんプリント]を選んで㊋ボタンを押し、⊛⊡で画像を選んで㊋ボタンを押します。

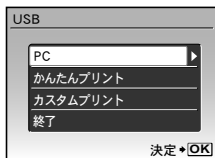
2 プリンタの電源を入れてから、プリンタとカメラを接続する。

3 ⊡を押してプリントをはじめる。

4 続けてプリントするときは、⊛⊡で画像を選び、㊋ボタンを押す。

プリントを終了するには

画像選択の画面が表示された状態でカメラとプリンタからUSBケーブルを抜きます。

プリンタの設定を変えてプリントする[カスタムプリント]

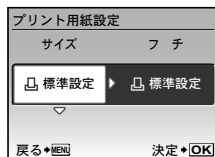
1 [かんたんプリント]（p. 60）の手順1、2を行い、㊫ボタンを押す。

2 ⊡⊙で[カスタムプリント]を選び、㊫ボタンを押す。

3 ⊡⊙でプリントモードを選び、㊫ボタンを押す。

サブメニュー 2	用途
プリント	手順6で選択する画像をプリントする。
全コマプリント	内蔵メモリ/カード中の全画像をプリントする。
マルチプリント	1枚の用紙に同じ画像を複数レイアウトしてプリントする。
全コマインデックス	内蔵メモリ/カード中の全画像をインデックス(一覧)形式でプリントする。
予約プリント[*1]	プリント予約の内容にしたがってプリントする。

[*1] プリント予約された画像がないときは、[予約プリント]は選択できません。「プリント予約(DPOF)」（p. 63）

4 ⊡⊙で[サイズ]（サブメニュー 3）を選び、⚡を押す。

❗ [プリント用紙設定]画面が表示されないときは、[サイズ]と[フチ] / [分割数]はプリンタに固有の標準設定でプリントされます。

5 ⊡⊙で[フチ] / [分割数]の設定を選び、㊫ボタンを押す。

サブメニュー 4（フチ/分割数）	用途
有り/無し[*1]	用紙の周辺に余白をつけてプリントする(有り)。用紙いっぱいにプリントする(無し)。
(分割数はプリンタにより異なる)	手順3で[マルチプリント]を選んだときのみ、分割数を選ぶ。

[*1] 選択できる[フチ]の設定はプリンタによって異なります。

❗ 手順4、5で[凸標準設定]を選択すると、プリンタに固有の標準設定でプリントされます。

6 で画像を選ぶ。

7 表示している画像を[1枚予約]するときは、を押す。
表示している画像の詳細な設定を行うときは、を押す。

詳細設定を行うには

① で設定を行い、ボタンを押す。

サブメニュー5	サブメニュー6	用途
プリント枚数	0 ～ 10	プリントする画像の枚数を選ぶ。
日付	有り/無し	画像に日付をプリントする(有り)。 画像に日付をプリントしない(無し)。
ファイル名	有り/無し	画像にファイル名をプリントする(有り)。 画像にファイル名をプリントしない(無し)。
トリミング	(設定画面に進む)	画像の一部を選んでプリントする。

画像の一部を切り出すには(トリミング)

① ズームレバーでトリミング枠の大きさを選び、で枠を移動したあと、ボタンを押す。

② で[決定]を選びボタンを押す。

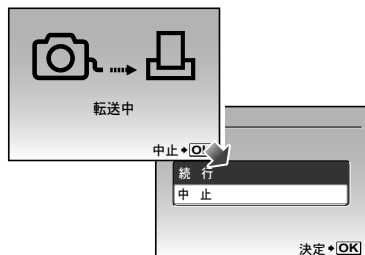
8 必要に応じ手順6 ～ 7を繰り返して、プリントする画像の選択、詳細設定、[1枚予約]をする。

9 ボタンを押す。

10 で[プリント]を選び、ボタンを押す。

- 画像のプリントがはじまります。
- 全コマプリントモードの場合、[オプション設定]を選択すると、[プリント情報設定]画面が表示されます。
- プリントが終了すると、[プリントモード選択]画面が表示されます。

プリントを中止するには

① [転送中]の表示中に、㊀ボタンを押す。
② ▣⊙で[中止]を選び、㊀ボタンを押す。

11 MENUボタンを押す。

12 [USBケーブルを抜いてください]が表示されてから、カメラとプリンタからUSBケーブルを抜く。

プリント予約(DPOF[*1])

プリント予約とは、カード内の画像にプリントする枚数や日付を印刷する指定を記憶させることです。パソコンやカメラがなくても、プリント予約したカードだけで、DPOF対応のプリンタやDPOF対応のプリントショップで簡単にプリントすることができます。

[*1] DPOFとは、デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するための規格です。

❗ プリント予約は、カードに記録された画像にのみ設定することができます。あらかじめ画像が記録されているカードをカメラに入れてからプリント予約をしてください。

❗ 他のDPOF機器で設定したDPOF予約内容をこのカメラで変更することはできません。予約した機器で変更してください。また、このカメラで新たにDPOF予約を行うと、他の機器で予約した内容は消去されます。

❗ DPOF予約で予約できる枚数は、1枚のカードにつき999枚です。

1コマずつプリント予約する［1コマ予約］

1 モードダイヤルを▶にしたあと、MENUボタンを押してトップメニューを表示する。

2 ▣⊙❀⚡で[🖨](プリント予約)を選び、㊀ボタンを押す。

3 ▣⊙で[1コマ予約]を選び、㊀ボタンを押す。

4 ◁▷で予約する画像を、△▽で予約する枚数を選び、ⓄⓀボタンを押す。

5 △▽で[日時プリント]画面での設定を選び、ⓄⓀボタンを押す。

サブメニュー 2	用途
無し	画像のみをプリントする。
日付	画像と撮影年月日をプリントする。
時刻	画像と撮影時刻をプリントする。

6 △▽で[予約する]を選び、ⓄⓀボタンを押す。

カード内の画像をすべて1枚ずつプリント予約する[全コマ予約]

1 [1コマ予約](p. 63)の手順1、2を行う。

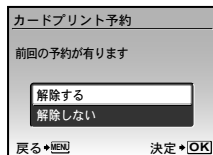
2 △▽で[全コマ予約]を選び、ⓄⓀボタンを押す。

3 [1コマ予約]の手順5 ～ 6を行う。

すべてのプリント予約を解除する

1 モードダイヤルを▶にしたあと、MENUボタンを押してトップメニューを表示する。

2 △▽◁▷で[🖶](プリント予約)を選び、ⓄⓀボタンを押す。

3 [1コマ予約]、[全コマ予約]のいずれかを選び、ⓄⓀボタンを押す。

4 △▽で[解除する]を選び、ⓄⓀボタンを押す。

1コマずつプリント予約を解除する

1 「すべてのプリント予約を解除する」(p. 64)の手順1、2を行う。

2 🔲🔲で[1コマ予約]を選び、Ⓞボタンを押す。

3 🔲🔲で[解除しない]を選び、Ⓞボタンを押す。

4 🔲🔲で予約を解除する画像を選び、🔲🔲で予約する枚数を「0」にする。

5 必要に応じて手順4を繰り返し、最後にⓄボタンを押す。

6 🔲🔲で[日時プリント]の設定を選び、Ⓞボタンを押す。
- プリント予約の設定が残っている画像に、選択した設定が適用されます。

7 🔲🔲で[予約する]を選び、Ⓞボタンを押す。

付属のOLYMPUS Master 2を使う

OLYMPUS Master 2の動作環境とインストール

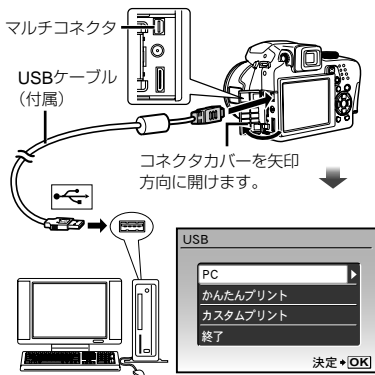
同梱のインストールガイドにしたがいインストールしてください。

カメラをパソコンに接続する

1 カメラの電源が切れていることを確認する

- 液晶モニタ/ビューファインダが消灯している
- レンズが収納されている

2 カメラをパソコンに接続する。

- 自動的にカメラの電源が入ります。

接続するUSBポートの位置は、お使いのパソコンの取扱説明書でご確認ください。

3 で[PC]を選び、ボタンを押す。

- はじめて接続するときは、パソコンがカメラを新しい機器として自動的に認識します。

Windowsの場合

カメラがパソコンに認識され、設定終了のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックして終了してください。カメラは「リムーバブルディスク」として認識されます。

Macintoshの場合

通常iPhotoが起動します。iPhotoを終了してからOLYMPUS Master 2を起動してください。

パソコンと接続している間、カメラ機能は一切動作しません。

USBハブ経由でカメラを接続すると、動作が不安定になることがあります。USBハブは使わないでください。

手順3で[PC]を選択後、を押して表示されるサブメニューで[MTP]を選択すると、OLYMPUS Master 2を使ってパソコンへ画像を転送できなくなります。

OLYMPUS Master 2を起動する

① 「OLYMPUS Master 2」アイコンをダブルクリックする。

Windowsの場合

はデスクトップに表示されています。

Macintoshの場合

は「OLYMPUS Master 2」フォルダ内に表示されています。

- 起動するとブラウズウィンドウが表示されます。

インストール後にはじめて起動すると、OLYMPUS Master 2の初期設定画面とユーザー登録画面が表示されます。画面の案内にしたがって操作してください。

OLYMPUS Master 2を使う

OLYMPUS Master 2を起動するとクイックスタートガイドが表示されます。ガイドにしたがうと迷わず操作できます。
クイックスタートガイドが表示されていないときは、ツールバーの をクリックして表示します。

詳しい使い方はヘルプをご覧ください。

OLYMPUS Master 2を使わずに画像をパソコンに取り込み保存する

このカメラはUSBストレージクラスに対応しています。お使いのパソコンにインストールされているアプリケーションで、画像データを扱うこともできます。

動作環境

Windows ： Windows 2000 Professional/ XP Home Edition/ XP Professional/ Vista
Macintosh ： Mac OS X v10.3以降

Windows Vistaをお使いの場合、「カメラをパソコンに接続する」(p. 66)の手順3で[PC]を選択後、を押して表示されるサブメニューで[MTP]を選択すると、Windowsフォト ギャラリーが使えるようになります。

USBポートのあるパソコンでも、以下の環境では正常な動作は保証されません。

- 拡張カードなどでUSBポートを増設したパソコン
- 工場出荷時にOSがインストールされていないパソコン、および自作パソコン

使い方のヒント

思い通りに操作できない、画面にメッセージが表示されるがどうして良いかわからないときは、以下を参考にしてください。

故障かな？と思ったら

電池

「電池を入れてもカメラが動かない」

- 新しい電池または充電された電池を正しい向きで入れる。
  「電池を入れる」（p. 15）
- 寒さのため一時的に電池の性能が低下していることがあります。カメラから電池を一度取り出し、ポケットに入れるなどして少し温めます。

カード・内蔵メモリ

「メッセージが表示される」

「エラーメッセージ」（p. 69）

シャッターボタン

「撮影できない」

- スリープモードを解除する。
  カメラは電源オンの状態(レンズ繰り出し、液晶モニタ点灯)で、何も操作しない状態で一定の時間が経過するとスリープモードと呼ばれる省電力状態に入り、液晶モニタは自動的に消灯します。スリープモードに入る時間は、1分、3分、5分、10分から設定することができます。この状態でシャッターボタンを全押ししても撮影できません。シャッターボタンやその他のボタンを操作して、カメラをスリープモードから復帰させてから撮影しましょう。さらに12分放置すると、カメラは電源オフの状態(レンズ格納、液晶モニタ消灯)になります。**ON/OFF**ボタンを押して電源を入れてください。
  ［スリープ時間］（p. 58）
- モードダイヤルを▶以外にする。
- ϟ（フラッシュ充電）アイコンの点滅が消えるのを待って撮影する。
- 長時間使用を続けると、カメラの内部温度が上がり、自動的に動作を停止する場合があります。電池を取り出して、カメラが冷えるまでしばらく待ってから撮影しましょう。また、使用中にカメラの外側の温度も上がりますが、故障ではありません。

液晶モニタ/ビューファインダ

「表示されない/見にくい」

- |◯|ボタンで表示を切り替える。
- 視度調整ダイヤルでビューファインダを見やすくする。
  「液晶モニタとビューファインダを切り替える」（p. 27）
- 結露[*1]が起こっている可能性があるので、電源を切り、カメラ全体がまわりの温度になじんで乾燥するのを待ってから撮影する。
  [*1] 寒いところから急に暖かく湿った部屋などに入れたときに露ができること。

「画面に縦スジが入る」

- 晴天下など、非常に明るい被写体にカメラを向けると画面に縦スジが入る場合があります。撮影した静止画にはスジは写りません。

「撮影した画像に光が写っている」

- 夜間にフラッシュを発光させて撮影すると、空気中のほこりなどに光が反射して、画像に写りこむことがあります。

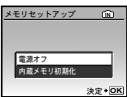
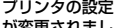
日時機能

「設定した日時が元に戻った」

- 電池を抜いた状態で約3日間[*2]放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります。設定し直します。
  [*2] 初期設定に戻るまでの時間は、電池を入れ替えてからの時間によって異なります。
  「日時を設定する」（p. 17）

設定保存

「電源を切ると設定した内容が保持されない」

- モードダイヤルが**P**、**A**、**S**、**M**、🎥のとき：
  電源を切っても設定は保持します(ただし、セルフタイマー、［パノラマ］、［インターバル撮影］は除く)。
- モードダイヤルが**AUTO**、**SCN**、BEAUTYのとき：
  電源を切ると初期状態に戻ります(ただし、［画質］は除く)。

その他

「撮影時にカメラ内部から音がする」

- 撮影可能状態ではオートフォーカス動作を行っているため、カメラを操作しなくてもレンズを動かしている音がすることがあります。

エラーメッセージ

液晶モニタに以下のメッセージが表示されたときは、以下の内容を確認してください。

エラーメッセージ	問題を解決するには
このカードは使用できません	**カードの問題** 新しいカードを入れます。
書き込み禁止になっています	**カードの問題** パソコンを使って、読み取り専用の設定を解除します。
撮影可能枚数が0です	**内蔵メモリの問題** • カードを入れます。 • 不要な画像を消去します。[*1]
内蔵メモリに残量がありません	**内蔵メモリの問題** • カードを入れます。 • 不要な画像を消去します。[*1]
撮影可能枚数が0です	**カードの問題** • カードを交換します。 • 不要な画像を消去します。[*1]
カード残量がありません	**カードの問題** • カードを交換します。 • 不要な画像を消去します。[*1]
カードセットアップ カードを拭く カード初期化 決定 OK	**カードの問題** • で[カードを拭く]を選び、ボタンを押します。カードを抜いて乾いた柔らかい布でコンタクトエリア(p. 73)を乾拭きしてから戻します。 • で[カード初期化]を選び、ボタンを押します。続けてで[する]を選び、ボタンを押します。[*2]
メモリセットアップ 電源オフ 内蔵メモリ初期化 決定 OK	**内蔵メモリの問題** で[内蔵メモリ初期化]を選び、ボタンを押します。続けてで[する]を選び、ボタンを押します。[*2]
回路冷却の為動画撮影を中止します暫くお待ち下さい	**操作上の問題** カメラが冷えるまでしばらく待ってから撮影します。
回路冷却中暫くお待ち下さい	**操作上の問題** カメラが冷えるまでしばらく待ってから撮影します。
画像が記録されていません	**内蔵メモリ/カードの問題** 撮影してから再生します。
この画像は再生できません	**選んだ画像の問題** 画像ソフトなどを使いパソコンで再生します。それでも再生できないときは、画像ファイルの一部が壊れています。
この画像は編集できません	**選んだ画像の問題** 画像ソフトなどを使いパソコンで編集します。
カードカバーが開いています	**操作上の問題** カードカバーを閉めます。
電池残量がありません	**電池の問題** • 新しい電池を入れます。 • 充電池のときは、充電します。
接続されていません	**接続の問題** カメラとパソコンまたはプリンタを正しく接続します。
用紙がありません	**プリンタの問題** プリンタに用紙を補充します。
インクがありません	**プリンタの問題** プリンタにインクを補充します。
紙づまりです	**プリンタの問題** 紙づまりを解消します。
プリンタの設定が変更されました[*3]	**プリンタの問題** プリンタを使用できる状態に戻します。
プリンタエラーです	**プリンタの問題** カメラとプリンタの電源を切り、プリンタの状態を確認してからもう一度電源を入れ直します。
この画像はプリントできません[*4]	**選んだ画像の問題** パソコンなどを使いプリントします。

[*1] 大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
[*2] データはすべて消去されます。
[*3] プリンタ側で用紙カセットを取り出すなどの操作をすると表示されます。プリントの設定中は、プリンタの操作をしないでください。
[*4] 他のカメラで撮影した画像などでは、プリントできないものがあります。

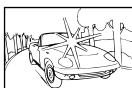
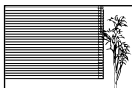
撮影のヒント

イメージした通りに写真を撮るための撮影方法がわからないときは、以下を参考にしてください。

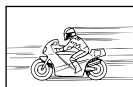
「狙ったものにピントを合わせたい」

- **画面の中心以外にある被写体を撮る**
  被写体と同じ距離にあるものにピントを合わせたあと、構図を決めて撮影します。
  半押し(p. 19)
  AFロック(p. 28)
  最初から構図を変えずに、ピントを合わせる場所を選びます。
  [ターゲット選択](p. 36)
- **暗いところにある被写体を撮る**
  AF補助光を使うとピントが合いやすくなります。
  [AFイルミネータ](p. 37)
- **オートフォーカスが苦手な被写体を撮る**
  以下のときは、被写体と同じ距離にあるコントラストのはっきりとしたものにピントを合わせたあと(シャッターボタン半押し)、構図を決めて撮影します。

コントラストがはっきりしない被写体

画面中央に極端に明るいものがあるとき

縦線のない被写体[*1]

[*1] カメラを縦位置に構えてピントを合わせてから、横位置に戻して撮影するのも効果的です。

遠い被写体と近いものが混在するとき

動きの速い被写体

ピントを合わせたいものが中央にない

手ぶれ

「ぶれない写真を撮りたい」

- **[手ぶれ補正](p. 37)を使って撮る**
  ISO感度を上げなくてもCCD[*1]が手ぶれを補正する動きをします。高倍率ズームで撮影するときにも有効です。
  [*1] レンズを通して入ってきた光を受けて、電気信号に変換する素子。
- **撮影シーンをSモードまたは[スポーツ]にする**
  速いシャッター速度で撮影できるので、被写体ぶれにも有効です。
  Sモード(p. 22)
  [SCN](p. 41)
- **高いISO感度で撮る**
  高いISO感度を選ぶと、フラッシュを使えない場所でも速いシャッター速度で撮影できます。
  [ISO感度](p. 34)

露出(明るさ)

「イメージ通りの明るさで撮りたい」

- **逆光の被写体を撮る**
  逆光でも顔を明るく撮れます。
  [顔検出パーフェクトショット](p. 24)
- **[顔検出](p. 36)AFで撮る**
  逆光でも露出が顔に合い明るく撮れます。
- **[スポット](p. 35)測光で撮る**
  画面中央の被写体に明るさを合わせて撮影するので、背景の光に影響されません。
- **[強制発光](p. 25)フラッシュで撮る**
  逆光でも被写体が暗くならずに撮れます。

- **白い砂浜・雪景色をきれいに撮る**
  SCNモードの[ビーチ＆スノー]で撮影します。（p. 41）
- **露出補正（p. 26）して撮る**
  画面を確認しながら明るさを調節して写します。通常、白い被写体（雪など）を撮影すると実際より暗く写ってしまいますが、ボタンでプラス（＋）に補正すると見たままの白を表現することができます。黒い被写体を撮影するときは、逆にマイナス（－）に補正すると効果的です。

色合い　WB

「見た目と同じ色で撮りたい」

- **［ホワイトバランス］（p. 33）を選んで撮る**
  通常は[オート]でほとんどの環境をカバーしますが、被写体の条件によっては設定を変えて試してみるほうが良いことがあります。（晴天下の日陰や、自然光と照明光が混ざってあたるとき、など）

画質

「きめ細かい写真を撮りたい」

- **光学ズームで撮る**
  ［デジタルズーム］（p. 35）を使わないで撮影します。
- **低いISO感度で撮る**
  ［ISO感度］を高くすると、ノイズ（本来そこにはないはずの色の小さな点や色むら）が発生し、画像が粗く見えます。このカメラは［ノイズリダクション］（p. 39）を備えていますが、ISO感度を高くすると、低いときよりは粗くなります。
  ［ISO感度］（p. 34）

パノラマ

「コマがきれいにつながるように撮りたい」

- **パノラマ撮影時のヒント**
  カメラを中心に回転させて撮影すると画像のずれが発生しにくくなります。特に近いものを撮影するときはレンズの先端を中心に回転させると良い結果が得られます。

電池

「電池を長持ちさせたい」

- **以下の操作は実際に撮影しなくても、電池を消耗するので、なるべく避ける**
  - シャッターボタンの半押しを繰り返す
  - ズーム操作を繰り返す
- **［フルタイムAF］（p. 37）を使わない**
- **ビューファインダを使う**
  「液晶モニタとビューファインダを切り替える」（p. 27）

再生・編集のヒント

再生

「内蔵メモリ/カード内の画像を再生したい」

- **内蔵メモリ内の画像を再生するときは、カードを抜く**
  - 「xD-ピクチャーカード™（別売）を入れる」（p. 16）
  - 「microSDカード/microSDHCカード（別売）を入れる」（p. 16）

「ハイビジョンテレビで高画質で見たい」

- **HDMIケーブル（市販品）でカメラとテレビをつなぐ**
  - 「カメラの画像をテレビで再生するには」（p. 55）
  - 「HDMIケーブルでテレビに接続するときのデジタルビデオ信号形式を選ぶ［HDMI］」（p. 57）

編集

「静止画に録音済みの音声を消したい」

- **画像の再生時に、静かなところ（無音状態）で追加録音をする**
  ［録音］（p. 50）

資料

アフターサービス

- 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。取扱説明書にしたがったお取り扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1 ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。
- 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。
- 当カメラの補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に当社で保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにお問い合わせください。
- 海外で故障・不具合が生じた場合は、オリンパス代理店リストに記載のⓌマークが付いた販売店・サービスステーションまでご依頼ください。
- 本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等)については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。
- 修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

お手入れ

カメラの外側

- 柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、固く絞ってから、汚れを拭き取ります。その後、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使用した場合は、真水に浸した布を固く絞って拭き取ります。

液晶モニタとビューファインダ

- 柔らかい布でやさしく拭きます。

レンズ

- レンズブロワー(市販)でほこりを吹き払って、レンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。
  - ! 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。
  - ! レンズを汚れたままにしておくと、カビが生えることがあります。

カメラの保管

- カメラを長期間使用しないときは、電池やACアダプタ、カードを取り外してから風通しがよく涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 保管期間中でも、ときどき電池を入れてカメラの動作を確かめてください。
  - ! 薬品を扱うような場所での保管は腐食などの原因になるため避けてください。

電池について

- このカメラでは、次の電池を使用することができます。用途に合わせてお選びください。
  単3形アルカリ電池
  撮影可能枚数はお使いの電池の銘柄や使用条件によって大きく変わります。
  単3形ニッケル水素電池
  当社製ニッケル水素電池は、充電することで繰り返し使用できるので経済的です。詳しくは、充電器に付属の取扱説明書をお読みください。

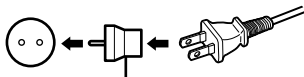
  注意
  指定以外の電池を使用した場合、爆発（または破裂）の危険があります。
  使用済み電池は取扱説明書の「電池について」（p. 80）にしたがって廃棄してください。

- **以下の電池は使用できません：**
  リチウム電池パック（CR-V3）/単3マンガン電池/単3オキシライド電池/単3リチウム電池
- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
- 以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
  - ズーム動作を繰り返す。
  - 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作や手ぶれ補正動作を繰り返す。
  - ［フルタイムAF］（p. 37）を［ON］に設定している。
  - 長時間、液晶モニタで画像を表示する。
  - パソコンやプリンタとの接続時。
- 電池の寿命は、お使いの電池の種類、メーカー、カメラの使用条件などにより大きく異なります。同様に条件により、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れる場合や、逆に電池残量警告が早めに表示される場合があります。

ACアダプタを使う

長時間スライドショーを行う、パソコンに画像をダウンロードするなど、時間がかかる作業を行う場合には、ACアダプタ（C-8AC/別売）の使用をおすすめします。
専用のACアダプタ以外はご使用にならないでください。

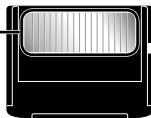
海外での使用について

- ACアダプタは、世界中のほとんどの家庭用電源AC100 ～ 240V（50/60Hz）でご使用になれます。ただし、国や地域によっては、電源コンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプタ（市販）が必要になる場合があります。

変換プラグアダプタ（市販品の一例）

詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。

- 市販の海外旅行用電子変圧器（トラベルコンバータ）は、ACアダプタが故障することがありますので使用しないでください。

xD-ピクチャーカード（カード）を使う

カード（および内蔵メモリ）は、撮影画像を記録するためのフィルムにあたるものです。記録された画像（データ）は、削除やパソコンでの加工を自由にできます。内蔵メモリはカメラから取り出したり、交換することができませんが、カードはカメラから取り出したり、交換することができます。また容量の大きなカードを使用すると、記録できる枚数を増やすことができます。

コンタクトエリアには直接手を触れないでください。

このカメラで使用できるカード

xD-ピクチャーカード（16MB ～ 2GB）（TypeH/M/M+, Standard）

新しいカードを使うときには

当社製以外のカードを使うときや、パソコンなどで他の用途に使用したカードを使うときは、［内蔵メモリ初期化］/［カード初期化］（p. 51）でカードを初期化します。

画像の保存先を確認する

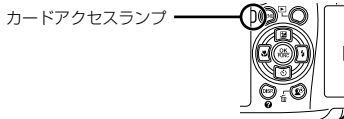
内蔵メモリまたはカードのどちらを使用して撮影・再生しているか、液晶モニタで確認できます。

使用メモリ表示

INのとき：内蔵メモリ使用
表示なしのとき：カード使用

［内蔵メモリ初期化］/［カード初期化］や［1コマ消去］、［選択消去］、［全コマ消去］を行っても、カード内のデータは完全には消去されません。廃棄する際は、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

カードの読み出し/書き込み動作

カードアクセスランプの点滅中はデータの読み出し/書き込みが行われています。絶対に電池カバー/カードカバーを開けたり、USBケーブルを抜いたりしないでください。撮影した画像が破壊されるだけでなく、内蔵メモリまたはカードが使用できなくなることがあります。

内蔵メモリとxD-ピクチャーカードの撮影可能枚数(静止画)/連続撮影可能時間(ムービー)

静止画

画像サイズ	圧縮モード	撮影可能枚数			
		内蔵メモリ		xD-ピクチャーカード(1GBの場合)	
		音声あり	音声なし	音声あり	音声なし
12M 3968×2976	FINE	3枚	3枚	173枚	174枚
	NORM	7枚	7枚	340枚	343枚
5M 2560×1920	FINE	9枚	9枚	404枚	410枚
	NORM	17枚	17枚	770枚	789枚
3M 2048×1536	FINE	13枚	14枚	615枚	627枚
	NORM	25枚	26枚	1142枚	1184枚
2M 1600×1200	FINE	21枚	22枚	954枚	984枚
	NORM	38枚	41枚	1728枚	1827枚
1M 1280×960	FINE	31枚	32枚	1390枚	1453枚
	NORM	53枚	57枚	2369枚	2558枚
VGA 640×480	FINE	110枚	130枚	4920枚	5814枚
	NORM	179枚	239枚	7995枚	10660枚
L16:9 3968×2232	FINE	5枚	5枚	230枚	231枚
	NORM	10枚	10枚	447枚	453枚
S16:9 1920×1080	FINE	20枚	20枚	900枚	927枚
	NORM	35枚	37枚	1599枚	1683枚

ムービー

画像サイズ	フレームレート	連続撮影可能時間			
		内蔵メモリ		xD-ピクチャーカード(1GBの場合)	
		音声あり	音声なし	音声あり	音声なし
VGA 640×480	30	12秒	12秒	9分25秒*	9分28秒*
	15	25秒	25秒	18分44秒	18分56秒
QVGA 320×240	30	34秒	34秒	25分26秒	25分49秒
	15	1分7秒	1分9秒	50分7秒	51分38秒

! カードの容量に関わらず、一度に記録できるムービーの最大ファイルは、2GBまでになります。

* xD-ピクチャーカードType MまたはStandard使用時は、最長40秒になります。

撮影枚数を増やすには

不要な画像を消去するか、カメラをパソコンなどに接続して画像を保存してから、内蔵メモリ/カードの画像を消去します。[1コマ消去](p. 20)、[選択消去](p. 50)、[全コマ消去](p. 50)、[内蔵メモリ初期化] / [カード初期化](p. 51)

microSDアタッチメントを使う

- 対応機種以外のオリンパスデジタルカメラ、他社デジタルカメラ、パソコン、プリンタ、その他xD-ピクチャーカードが使用できる機器には、絶対にアタッチメントを使用しないでください。撮影した画像が壊れるだけでなく、機器の故障の原因となります。
- microSDカードが取り外せない場合は、無理に取り出さず、当社修理センター、またはサービスセンターにご相談ください。

このカメラで使用できるカード

microSDカード
microSDHCカード

- 動作確認済みのmicroSDカードについては、オリンパスホームページ(http://www.olympus.co.jp/)でご確認ください。

撮影した画像のデータ転送方法

パソコンやPictBridge対応のプリンタへは、カメラに付属のUSBケーブルで撮影した画像を転送することができます。それ以外の機器へは、カメラからmicroSDアタッチメントを外し、市販のmicroSDカード専用アダプタをご使用ください。

取り扱いについて

microSDアタッチメントおよびmicroSDカードのコンタクトエリアには直接手を触れないでください。 画像が読み込めない原因となります。指紋·汚れ等が付いたときは、乾いた柔らかい布で接触面を乾拭きしてください。

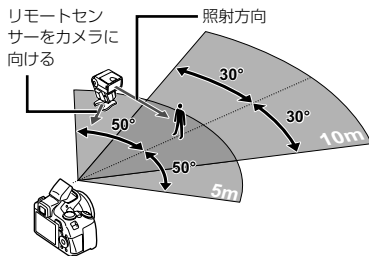
オリンパスワイヤレスRCフラッシュシステムを使って撮る

オリンパスワイヤレスRCフラッシュシステムに対応しているフラッシュを使用すると、ワイヤレスでフラッシュ撮影ができます。このシステムに対応した複数のフラッシュを使用した多灯フラッシュ撮影も可能です。カメラとフラッシュの通信にはカメラの内蔵フラッシュを使用します。

- ワイヤレスフラッシュの操作については、専用外部フラッシュの取扱説明書をご覧ください。

1 下記の目安を参考に、ワイヤレスフラッシュを設置する。

ワイヤレスフラッシュ設置範囲の目安

- 設置範囲は周辺環境により変わります。

2 ワイヤレスフラッシュの電源を入れる。

3 ワイヤレスフラッシュのMODEボタンでRCモードに設定し、チャンネルとグループを設定する。

- グループはAに設定します(B、Cでは作動しません)。

4 カメラの電源を入れ、ボタンを押して、内蔵フラッシュを上げる。

5 カメラ本体で[フラッシュ選択](p. 38)を[RC]にして、チャンネル([CH1]～[CH4])をワイヤレスフラッシュと同じ設定にする。

6 フラッシュモードを選ぶ。

- 「フラッシュを使う」（p. 25）
- ［RC］のとき［赤目軽減］［赤目･強制発光］［赤目SLOW］は選べません。

7 テスト撮影をして、フラッシュの作動や撮影した画像を確認する。

- カメラとワイヤレスフラッシュの充電状況を確認してから撮影します。
- ワイヤレスフラッシュの設置数に制限はありませんが、相互干渉による誤動作を防止するため、最大3台までの使用をおすすめします。
- カメラのフラッシュが［RC］のとき、カメラ本体の内蔵フラッシュはワイヤレスフラッシュとの通信に使用されます。撮影のためのフラッシュとしては使用できません。
- カメラのフラッシュが［SLOW2（後幕シンクロ）］でワイヤレスフラッシュを使用するときは、シャッター速度が4秒以内になるように設定してください。それを超えると、正常な撮影ができません。

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この内容をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

製品の取り扱いについてのご注意

⚠ 警告

- **可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない**
  引火・爆発の原因となります。
- **フラッシュやLEDを人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光させない**
- **カメラで日光や強い光を見ない**
  視力障害をきたすおそれがあります。
- **幼児、子供の手の届く場所に放置しない**
  以下のような事故が発生するおそれがあります。
  - 誤ってストラップを首に巻きつけ、窒息を起こす。
  - 電池などの小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
  - 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
  - カメラの動作部でけがをする。
- **ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使用したり、保管しない**
  火災・感電の原因となります。
- **フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない**
- **連続発光後、発光部分に手を触れない**
  やけどのおそれがあります。
- **分解や改造をしない**
  感電・けがをするおそれがあります。
- **内部に水や異物を入れない**
  火災・感電の原因となります。
  万一水に落としたり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。
- **通電中の充電器、充電中の電池に長時間触れない**
  充電中の充電器や電池は、温度が高くなります。また別売のACアダプタを長時間ご使用の場合にも、本体の温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。
- **専用の当社製充電式電池と充電器以外は使用しない**
  発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故が起きる可能性があります。専用品以外の使用により生じた傷害は補償しかねますので、ご了承ください。

- **microSDカード以外は取り付けない**
  microSDアタッチメントには、その他のカードを取り付けることはできません。
- **xD-ピクチャーカードおよびmicroSDアタッチメント以外は、絶対にカメラに入れない**
  microSDカードなどその他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

⚠ 注意

- **異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常を感じたときは使用を中止する**
  火災・やけどの原因となることがあります。
  やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください。
  （電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください。）
- **濡れた手でカメラを操作しない**
  故障・感電の原因となることがあります。また、ACアダプタの抜き差しは、濡れた手では絶対しないでください。
- **カメラをストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する**
  けがや事故の原因となることがあります。
- **高温になるところに放置しない**
  部品の劣化・火災の原因となることがあります。
- **専用のACアダプタ以外は使用しない**
  カメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故が起きる可能性があります。専用以外のACアダプタの使用により生じた傷害は補償しかねますので、あらかじめご了承ください。
- **ACアダプタのコードを傷つけない**
  ACアダプタのコードを引っ張ったり、継ぎ足したりは絶対にしないでください。必ず電源プラグを持って、抜き差しを行ってください。
  以下の場合はただちに使用を中止し、販売店、当社修理センターまたはサービスステーションにご相談ください。
  - 電源プラグのコードが熱い、焦げ臭い、煙が出ている。
  - ACアダプタのコードに傷、断線、または電源プラグに接触不良がある。

電池についてのご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによるやけどやけがを避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 危険

- **火の中に投下したり、加熱しない**
  発火・破裂・火災の原因となります。
- **（＋）（－）端子を金属類で接続しない**
- **電池と金属製のネックレスやヘアピンを一緒に持ち運んだり、保管しない**
  ショート、発熱し、やけど・けがの原因となります。
- **直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しない**
  液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・やけど・けがの原因となります。
- **直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない**
  端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。
  火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。
- **電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しない**
  火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。
- **電池の液が目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。**

⚠ 警告

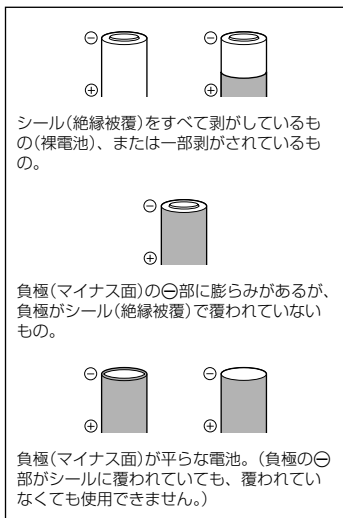
- **水や海水などにつけたり、端子部を濡らさない**
- **濡れた手で触ったり持ったりしない**
  感電・故障の原因となります。
- **以下の内容を守らない場合、電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により、火災やけがのおそれがあります。**
  - このカメラで指定されていない電池を使わないでください。
  - 古い電池と新しい電池、充電した電池と放電した電池、また、容量、種類、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しないでください。

- 充電できないアルカリ電池やリチウム電池などを充電しないでください。
- ＋－を逆にして装着、使用しないでください。また、機器にうまく入らない場合は無理に接続しないでください。
- 外装シール（絶縁被覆）を一部またはすべて剥がしている電池や、破れている電池をご使用になりますと、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になりますので、絶対にご使用にならないでください。
- 市販されている電池の中にも、外装シール（絶縁被覆）の一部またはすべてが剥がされている電池があります。このような電池は、絶対にご使用にならないでください。

- **このような形状の電池はご使用になれません。**

シール（絶縁被覆）をすべて剥がしているもの（裸電池）、または一部剥がされているもの。

負極（マイナス面）の⊖部に膨らみがあるが、負極がシール（絶縁被覆）で覆われていないもの。

負極（マイナス面）が平らな電池。（負極の⊖部がシールに覆われていても、覆われていなくても使用できません。）

- **充電式電池が所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する**
  火災・破裂・発火・発熱の原因となります。
- **外装にキズや破損のある電池は使用しない**
  破裂・発熱の原因となります。
- **電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない**
  破裂・液漏れの原因となります。
- **カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない**
- **液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合は、使用を中止する**
  火災・感電の原因となります。
  販売店または当社サービスステーションにご相談ください。
- **電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがあるので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。**

⚠ 注意

- **電池を使ってカメラを長時間連続使用したあとは、すぐに電池を取り出さない**
  やけどの原因となることがあります。
- **長期間使用しない場合は、カメラから電池を外しておく**
  液漏れ・発熱により、火災・けがの原因となることがあります。
- **マンガン電池は使用しない。**
  電池寿命が短いばかりでなく、電池の発熱などにより本体に損害をもたらすおそれがあります。

充電器についてのご注意

⚠ 危険

- **充電器を濡らしたり、濡れた状態または濡れた手で触ったり持ったりしない**
  故障・感電の原因となります。
- **充電器を布などで覆った状態で使用しない**
  熱がこもってケースが変形したり、火災・発火・発熱の原因となります。
- **充電器を分解・改造しない**
  感電・けがの原因となります。
- **充電器は指定の電源電圧で使用する**
  指定以外の電源電圧を使用すると、火災・破裂・発煙・発熱・感電・やけどの原因となります。

⚠ 警告

- **充電器のコードは傷つけたり、引っ張ったり、継ぎ足したりしない**
  火災・感電の原因となることがあります。
  コンセントからの抜き差しは、必ず電源プラグを持って行ってください。
  以下の場合はすぐに使用を中止し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。
  - 電源プラグやコードが熱い、焦げ臭い、煙が出ている。
  - 充電器のコードにキズ、断線、または電源プラグに接触不良がある。

⚠ **注意**

- **お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う**
  電源プラグを抜かないで行うと、感電・けがの原因となることがあります。

使用上のご注意

使用条件について

- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
  - 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
  - 砂、ほこり、ちりの多い場所
  - 火気のある場所
  - 水に濡れやすい場所
  - 激しい振動のある場所
- カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- レンズを直射日光に向けたまま撮影または放置しないでください。CCDの退色・焼きつきを起こすことがあります。
- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露が発生する場合があります。ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。
- カメラを長期間使用しないと、カビが生えるなど故障の原因となることがあります。使用前には動作点検をされることをおすすめします。
- カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。
- 三脚に取り付ける際は、カメラを回さず、三脚のネジを回してください。
- 本体の電気接点部には手を触れないでください。
- レンズに無理な力を加えないでください。

電池について

- 当社製ニッケル水素電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。
- 電池の(+)(−)端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起こす原因となります。充電や使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。
- 充電式電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。
- アルカリ電池は電池の銘柄、製造日からの保存期間、使用温度により内部抵抗・容量に差があるため、ニッケル水素電池などに比べて寿命が極端に短い場合があります。また、低温時は使えません。
- 一般に電池は低温になるにしたがって一時的に性能が低下することがあります。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。
- ニッケル水素電池の使用推奨温度範囲は以下のとおりです。
  - 放電(機器使用時):0 ～ 40℃
  - 充電:0 ～ 40℃
  - 保存:-20 ～ 30℃

  上記温度範囲外での使用は、電池性能の低下・寿命の短縮の原因となります。
- 撮影条件、使用環境および電池により、撮影枚数が減少することがあります。
- 長期間の旅行などには、予備の電池を用意されることをおすすめします。海外では地域によって電池の入手が困難な場合があります。
- 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、(+)(−)端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。
  Ni-MH
  詳しくは有限責任中間法人JBRCホームページ(http://www.jbrc.com)をご覧ください。

液晶モニタについて

本製品は背面の表示に、液晶モニタを使用しています。

- カメラを太陽などの強い光線に向けると、内部を破損するおそれがあります。
- 液晶モニタは強く押さないでください。画面上ににじみが残り、画像が正しく再生されなくなったり、液晶モニタが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い流してください。

- 液晶モニタの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
- 被写体が斜めのとき、液晶モニタにギザギザが見えることがありますが、故障ではありません。記録される画像には影響ありません。
- 一般に低温になるにしたがって液晶モニタは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した液晶モニタは、常温に戻ると回復します。
- **本製品の液晶モニタは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、液晶モニタの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。**

その他のご注意

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影された画像の質は、通常のフィルム式カメラの写真の質とは異なります。

このマークは、オリンパスグループが地球環境保全のために、独自に設けた基準を満たした製品のみに与えられるマークです。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
飛行機内では、離発着時のご使用をお避けください。
本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI基準の限界値を超えることが考えられます。必ず、付属のケーブルをご使用ください。

商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。
MacintoshおよびAppleは米国アップル社の商標または登録商標です。
xD-ピクチャーカード™は商標です。
microSDはSDアソシエーションの商標です。
その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

仕様

カメラ

形式		:	デジタルカメラ(記録・再生型)
記録方式			
	静止画	:	デジタル記録、JPEG（DCF準拠）
	対応規格	:	Exif 2.2、DPOF、PRINT Image Matching III 、PictBridge
	静止画音声	:	Waveフォーマット準拠
	動画	:	AVI Motion JPEGに準拠
記録媒体		:	内蔵メモリ xD-ピクチャーカード(16MB ～ 2GB)（TypeH/M/M+, Standard) microSDカード/microSDHCカード(付属のmicroSDアタッチメント使用時)
カメラ部有効画素数		:	1200万画素
画像素子		:	1/2.33型CCD（原色フィルター）
レンズ		:	オリンパスレンズ4.6 ～ 119.6mm、F2.8 ～ 5.0 （35mmフィルム換算26 ～ 676mm相当）
測光方式		:	撮像素子によるデジタルESP 測光、スポット測光、中央重点測光
シャッター		:	15 ～ 1/2000秒(バルブ時：最長8分)
絞り		:	F2.8 ～ F8.0
撮影範囲		:	0.1m ～∞(W）1.7m ～∞(T)（通常・マクロ時） 0.01m ～∞(スーパーマクロ時)
液晶モニタ		:	2.7型(インチ）TFTカラー液晶、230,000ドット
コネクタ		:	DC入力端子 マルチコネクタ(USB端子/AV出力端子) HDMIミニコネクタ
自動カレンダー機能		:	2000 ～ 2099年の範囲で自動修正
使用環境			
	温度	:	0℃～ 40℃（動作時）/-20℃～ 60℃（保存時）
	湿度	:	30%～ 90%（動作時）/10%～ 90%（保存時）
電源		:	単3形アルカリ電池/ニッケル水素電池4本または専用ACアダプタ
大きさ		:	幅110.1mm × 高さ89.7mm × 厚さ91.0mm （突起部を除く）
質量		:	435g（電池/カード別）

microSDアタッチメント

形式		:	microSD専用アタッチメント
使用環境			
	温度	:	-10℃～ 40℃（動作時）/-20℃～ 65℃（保存時）
	湿度	:	95%以下(動作時）/85%以下(保存時)
大きさ		:	幅25.0mm×高さ20.3mm×厚さ1.7mm（持ち手部2.2mm）
質量		:	約0.9g

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

索引

英数/記号

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

オリンパスイメージング株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

● ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。
オリンパスホームページ **http://www.olympus.co.jp/** から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）

フリーダイヤル

0120-084215

携帯電話・PHSからは042-642-7499

FAX　042-642-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

※ カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間、最新情報についてはオリンパスホームページにて情報提供しております。
オリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から
「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 修理に関するお問い合わせ・修理品ご送付先（修理センター）、国内サービスステーション（修理窓口）につきましては、本製品に同梱の「オリンパス代理店リスト」、またはオリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。

※ 記載内容は変更されることがあります。最新情報はオリンパスホームページ
http://www.olympus.co.jp/ をご確認ください。

Printed in Indonesia　VN183201

1AG6P1P5342--